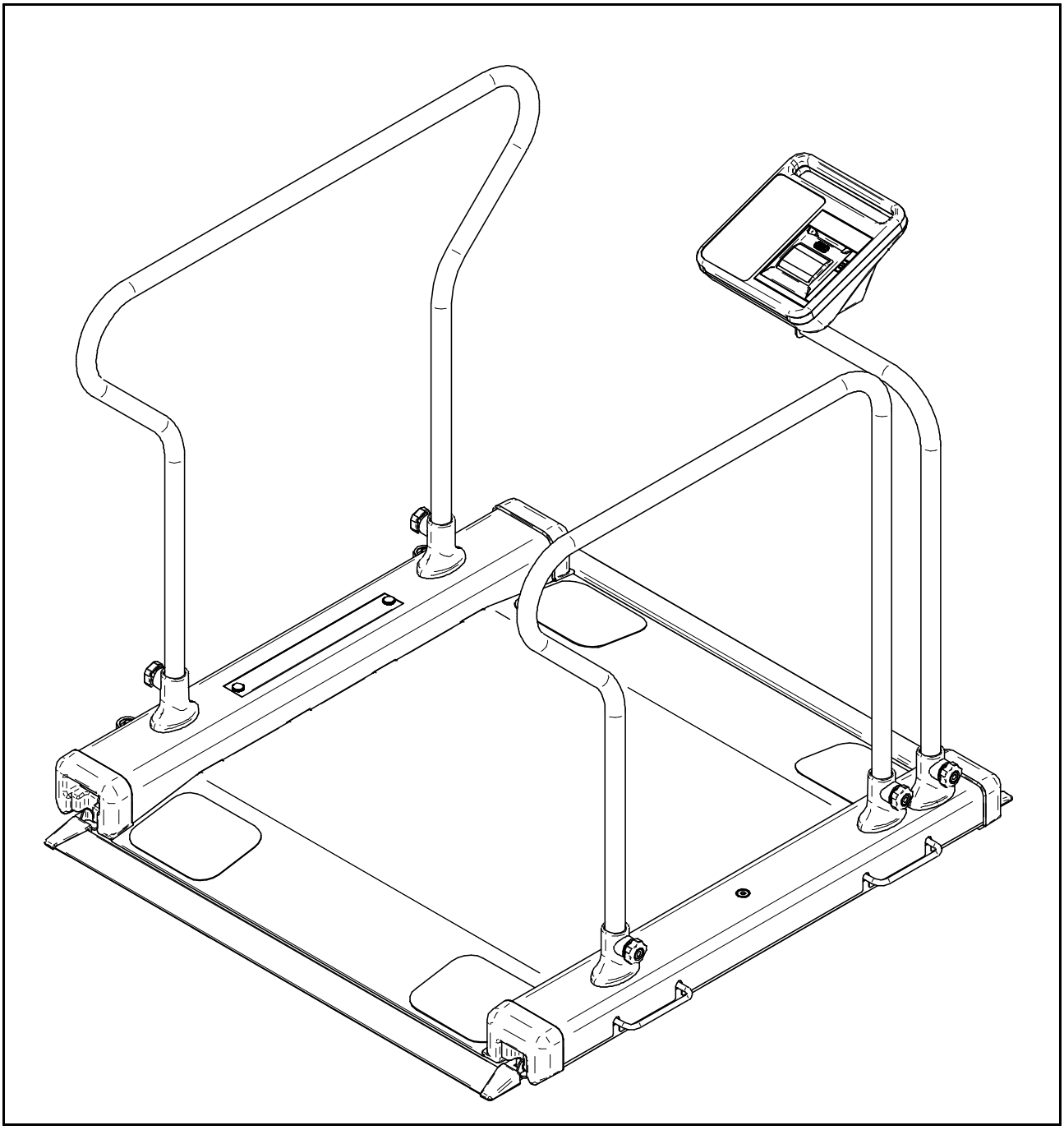
AD-6105R

バリアフリースケール（立位・車イス用）（3 級）

取扱説明書



A&D Medical

1WMPD4005191B

ご注意

(1) この取扱説明書（以下、本書）の一部または全部を株式会社エー・アンド・デイ（以下、弊社）の書面による許可なく、転載・複製・改変・翻訳を行うことはできません。
(2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 弊社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益及び、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または、必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねます。

Ⓒ 2024 株式会社 エー・アンド・デイ

- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、弊社によるマークの使用はライセンスに基づいています。
- 本書に記載されているその他の製品名および社名は、日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全及び危険防止）の注意事項

透析用体重計（AD-6105R）を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠警告	
	■ 設置されていることを周囲にお知らせください。知らない方が転倒する恐れがあります。 ■ 機器を設置、移動する際は必ず 2 人以上で実施してください。

⚠注意	
	下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などのない安定した場所。 ■ 本器および測定者、患者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5 °C ～ +35 °C、湿度 85 %RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度−10 °C ～ +60 °C の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 移動時は、取っ手を持って設置・移動してください。 ■ 手すりや表示器の付いているＬ字ポールを持って移動したり、持ち上げたりしないでください。移動中に手すりやポールが外れて手や足をはさむ原因になります。 ■ 手すりとＬ字ポールのアジャスタのネジが緩んでいないことを確認してください。 ネジが緩んだ状態で取っ手を持って持ち上げたり、移動すると、手すりやポールが外れて手や足をはさむ恐れがあります。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。

	■ 本器を移動するときは、全てのケーブル類を本体より取り外してから移動してください。 ■ 移動前にキャスターがスムーズに動くことを確認してください。 ■ 本体計量台の角や取っ手、スロープ金具など突起物に足などぶつけないようにご注意ください。 ■ 本器を移動するときは、転倒などしないように周辺に注意をして移動してください。 ■ 組み立ての際には指など挟まないように注意してください。 ■ 可動部に手や足を挟まないように注意してください。 ■ 足コマを調節する際は手や足を挟まないように注意し、必ず 2 人以上で調節してください。
	■ 本器は重量物のため、設置時に手や足をはさまないように注意してください。 ■ 設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

警告	
	■ 電源電圧は必ず交流 100 V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 ■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「18. 重力加速度の大きさの範囲」からご確認ください。 ■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。 ■ プリンタ用紙を交換するときは、プリンタカバーに指など挟まないようにご注意ください。
	■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源コードや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしないこと。 火災・感電の原因になります。 ■ AC アダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。 ■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。 故障の原因になります。 ■ 電池は+・−の極性に注意し、正しく設置してください。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3.　機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠警告	
!	■ 患者、車いす共に必ず計量台の中心部に乗ってください。 ■ 車いすで計量台に乗るときはステッピングバーを正しく使用して、患者が製品にぶつからないように注意して移乗ください。 ■ 車いす使用時は車いすのブレーキを正しくかけて、患者が落下しないように常に監視してください。 ■ 車いすの患者が一人で測定せず、必ず介助者と共に測定してください。

⚠注意	
!	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁などとの接触を避けること。測定に影響します。 ■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。 ■ 測定時は患者以外の人が計量台に触れないように注意してください。 ■ つまずきや転倒により怪我をするおそれがあります（計量台の段差、表示部と計量台をつなぐケーブル等）乗り降りの際はこれらに注意してください。
🚫	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動する場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。 ■ 計量台に飛び乗るなど、乱暴に取り扱わないこと。けがや故障の原因になります。

4.　機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
!	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
🚫	■ AC アダプタを取り外すときは、AC アダプタを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 ■ 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておいてください。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、AC アダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。 ■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。 機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
	■ 本器は、JIS C 61000-4-3（電磁両立性）に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 □ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 □ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 □ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 □ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） □ 本器を使用する前に、測定者、患者とも十分に放電を行う。 □ 部屋を加湿する。

	■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠注意	
	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。 ■ 使用済の電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃性として処分すると、電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。
測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

⚠注意	
	■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。 測定中に車イスが移動しけがをする恐れがあります。 ■ 表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。 ■ 本器には角や段差があります。転倒してぶつけてけがをしないよう注意してください。
	■ 手すりの上に登ったり、ぶら下がったり、座ったりしないでください。 転倒する恐れがあります。 ■ 計量台の端に乗らないでください。 転倒する恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗らないでください。 けがや転倒する恐れがあります。 ■ 手すりに強く寄りかからないでください。 転倒する恐れがあります。
	■ 計量台に乗る時には、車イスと手すりの間に手や足をはさまないように注意してください。 ■ 計量台に乗る時には、L 字ポールに体をぶつけないように注意してください。 ■ プリンタカバーやプリンタ駆動部に、手や髪の毛をはさまないように注意してください。 ■ 移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。

お知らせ
■ 計量台の中央部にお乗りください。 ■ 測定中に体が動かないよう手すりを持って測定してください。体動は測定誤差の原因になります。 ■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

⚠注意

■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

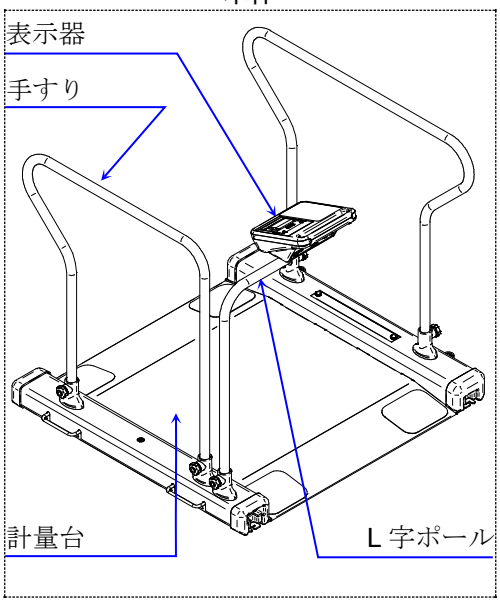
■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「17. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

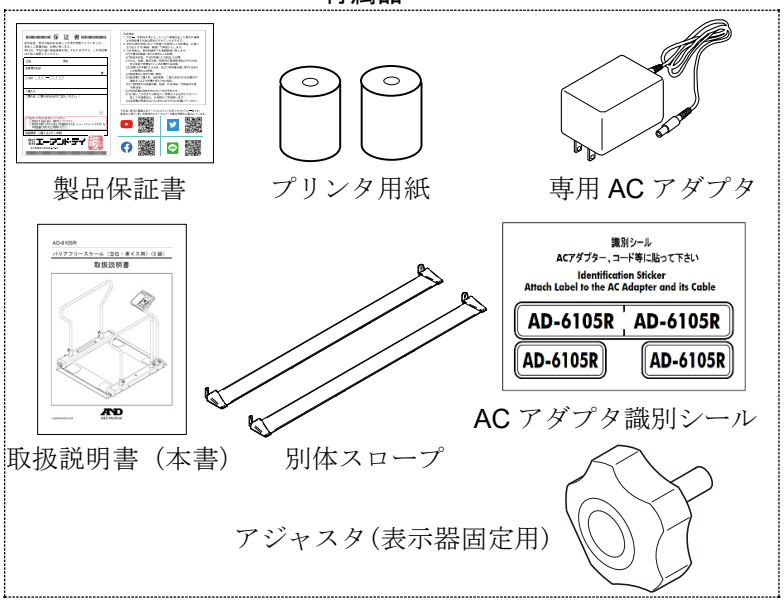
本体 ..... 1 セット
- 手すり ..... 2 本
- L 字ポール ..... 1 本
- 表示器 ..... 1 個
- 計量台 ..... 1 個

付属品
- 取扱説明書（本書） ..... 1 冊
- 製品保証書 ..... 1 部
- プリンタ用紙 ..... 2 個
- 専用 AC アダプタ ..... 1 個
- AC アダプタ識別シール ..... 2 枚
- 別体スロープ ..... 2 個
- アジャスタ（表示器固定用） ..... 1 個

本体



付属品



［白紙］

目次

注意事項の表記方法 i
使用上（安全及び危険防止）の注意事項 ii
安全測定のための警告および注意 vi
開梱 vii

1. はじめに 3

2. 特長 3

3. 検定付き計量器 3

4. 用語の解説 4

5. 仕様 5
5.1. 構成 5
5.2. 本体仕様 5
5.3. 外形寸法 6

6. 各部の名称と機能 7
6.1. スイッチ類 7
6.2. 表示器の説明 8
6.3. 計量台の説明 10

7. ご使用の準備 12
7.1. 開梱及び組立 12
7.2. 別体スロープの設置 15
7.3. 始業前点検 16
7.3.1. 電源投入前 16
7.3.2. 電源投入後 16
7.4. 電源の準備 17
7.4.1. ACアダプタ 17
7.4.2. 乾電池 17
7.5. 時計設定 18
7.6. 異物検知機能 20
7.6.1. 初期設定 20
7.6.2. 動作 21
7.7. プリンタ 22
7.7.1. プリンタ用紙の装着方法 22
7.8. プリンタヘッドのメンテナンス 24

8. 測定方法 25
8.1. 体重をはかる 25
8.2. 車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定） 27
8.2.1. 車いすの重さとして9.0 kg引くとき 27
8.3. 正確な服やシーツなどの重さを引くとき（風袋引き機能） 28
8.4. より細かな値を表示する（実目量 表示） 29

9. 点検モードについて 30

10. 標準バーコードリーダオプションの利用 31
10.1. 患者IDによる前回値表示 32
10.1.1. ID保存件数が上限に達した場合 33
10.2. 車いす引き量のIDの呼び出し、変更、保存 34
10.2.1. ID保存件数が上限に達した場合 35

11. ID管理モードについて 36
11.1. 患者IDに保存された内容を確認する 36
11.2. 特定の患者IDのデータを削除する 38
11.3. 全患者IDのデータを削除する 39

12. ファンクション設定 41
12.1. ファンクション設定方法 41
12.2. ファンクション一覧 42

13. 通信機能（RS-232Cインタフェース） 44
13.1. 基本情報 44
13.2. データフォーマット 45
13.2.1. 出力データフォーマット 45
13.2.2. 入力データフォーマット 48

14. プリンタ印字 49
14.1. 通常測定時の印字例 49
14.2. ID測定時の印字例 50

15. その他通信オプション 51

16. 保守 52
16.1. 保守点検と安全管理 52
16.2. 清掃 52
16.3. 定期点検 52
16.3.1. 電源投入前 52
16.3.2. 電源投入後 53
16.4. 廃棄 53
16.5. 修理を依頼される前に 54
16.6. エラーコード 55

17. アクセサリ・オプションリスト 56

18. 重力加速度の大きさの範囲 56

19. アフターサービス・保証 57
19.1. 保証期間 57
19.2. 免責事項 57
19.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 57

1.　はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの透析用体重計 AD-6105R をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6105R の操作方法について記述したものです。

本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られるところに大切に保管してください。

2.　特長

AD-6105R は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向け体重計です。以下の特長があります。

- バリアフリー仕様
- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。
- オプションパーツを使用することで *Bluetooth*®やイーサネット、USB での通信に対応することができます。
- オプションのバーコードリーダーを使用することで前回の体重と今回の体重を比較、差分を表示することができます。
- 異物検知機能で計量台の下に異物が挟まった状態で測定をすることを防止することができます。
- 点検モードを使用することでより正確に日常点検を実施することができるようになります。

3.　検定付き計量器

AD-6105R は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。
以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

- **使用地域の制限**

  検定付き計量器を「取引」または、「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。
  決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。
  ※　使用地域については、「18. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

- **ひょう量と最小測定量、目量**

  「取引」または、「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。
  「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
  「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

- **使用温度範囲**

  「取引」または、「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ **定期検査**

本器を「取引」または、「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 1.1.条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。
※　表示固定の解除については、「12. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。
※　定期点検については、「16.3. 定期点検」を参照してください。

■ **校正**

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4.　用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。 本器のひょう量は 200 kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器の目量は、100 g（150 kg 未満）200 g（150 kg 以上）です。 また、非接触スイッチを押している間のみ表示される実目量は 20 g です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「PT」として表現しています。
総量	風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

5.　仕様

5.1.　構成

搭載機能＼型名	AD-6105R
デジタル LCD 表示	○
体重測定	○
風袋引き測定	○
プリセット風袋引き測定	○
印刷	○

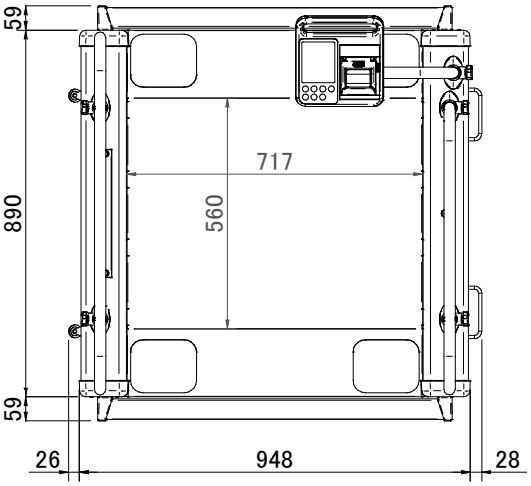
5.2.　本体仕様

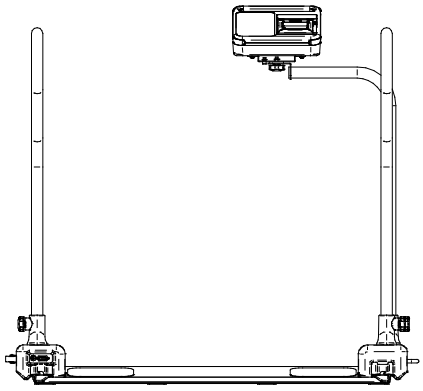
項目	仕様
型名	AD-6105R
販売名	透析用体重計
精度等級	3 級
ひょう量	200 kg
目量	100 g（150 kg 未満）/ 200 g（150 kg 以上）
実目量	20 g（非接触スイッチを押している間のみ）
最小測定量	2 kg
最大減算風袋量	90.0 kg 以下
使用温湿度範囲	温度：+5 ℃～+35 ℃ 湿度：85 %RH 以下（結露なきこと）
保管温度範囲	温度：-10 ℃～+60 ℃
表示	7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 18［mm］
電源	専用 AC アダプタ　　又は　単 2 型乾電池 5 本
乾電池寿命	連続動作 200 回以上
寸法	948（W）× 890（D）× 917（H）［mm］
本体質量	約 42 kg（別体スロープ除く）
耐用期間	設置後 5 年　弊社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。 使用状況により差異が生じることがあります。）

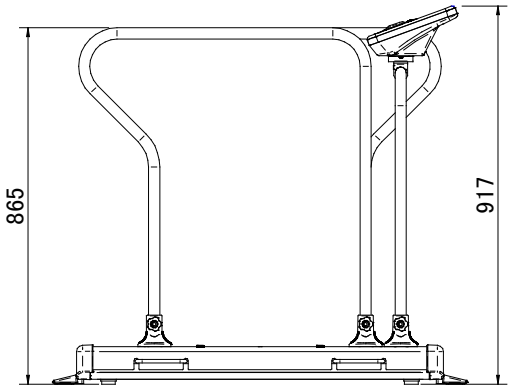
5.3.　外形寸法

計量台

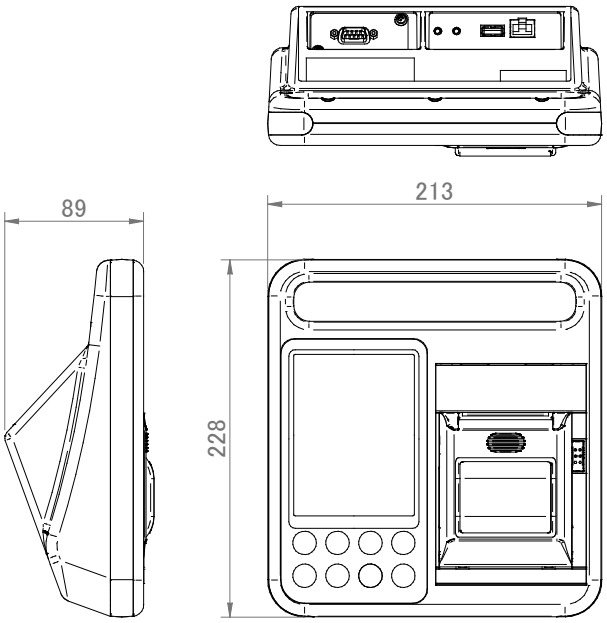
単位： mm







表示部



6.　各部の名称と機能

6.1.　スイッチ類

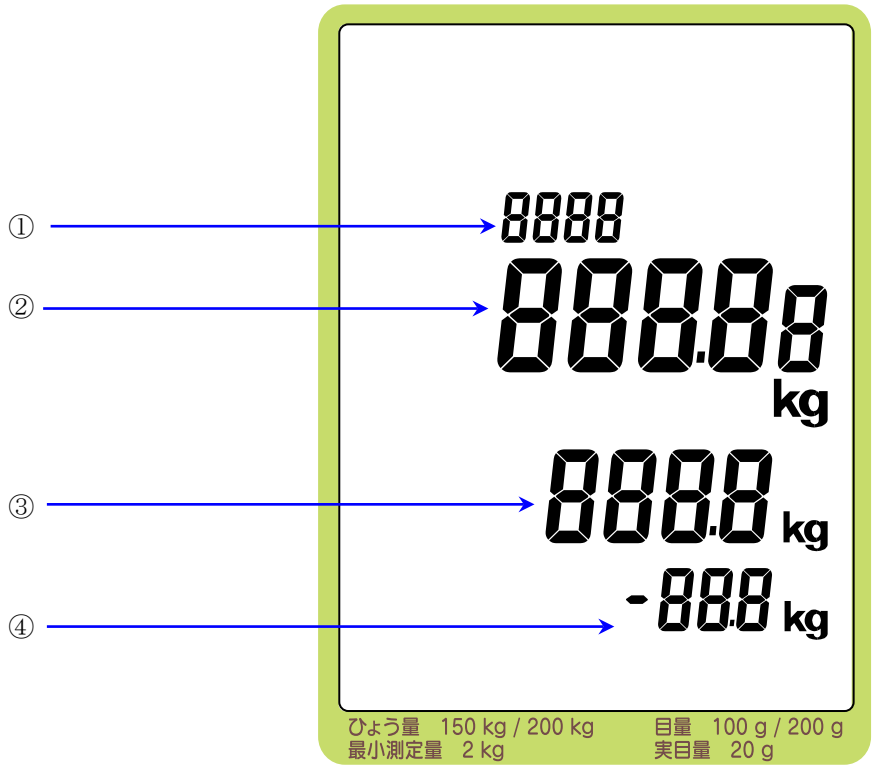
番号	名称	機能
①	印字	安定時に限り印字するときに押します。
②	車いす引	事前に車いすの質量を差し引く設定をします。
③	ゼロ　※1	表示を 0.0 kg にするとき押します。
④	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで待機状態になります。※2
⑤	▲	各種値を増加させます。
⑥	点検	各種点検をするときに押します。
⑦	▼	各種値を減少させます。
⑧	実目量	手をかざすと約 5 秒間実目量を表示します。

※1　載せているものが 4.0 kg 以上のときは風袋引きになります。

※2　本器はオートパワーオフ機能がついています。この機能は電源 ON 後、約 5 分間スイッチ操作がなく計量台に何も載っていない状態が続くと、自動的に電源 OFF になります。
このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクションにて動作設定することができます。
詳しくは「12. ファンクション設定」を参照してください。

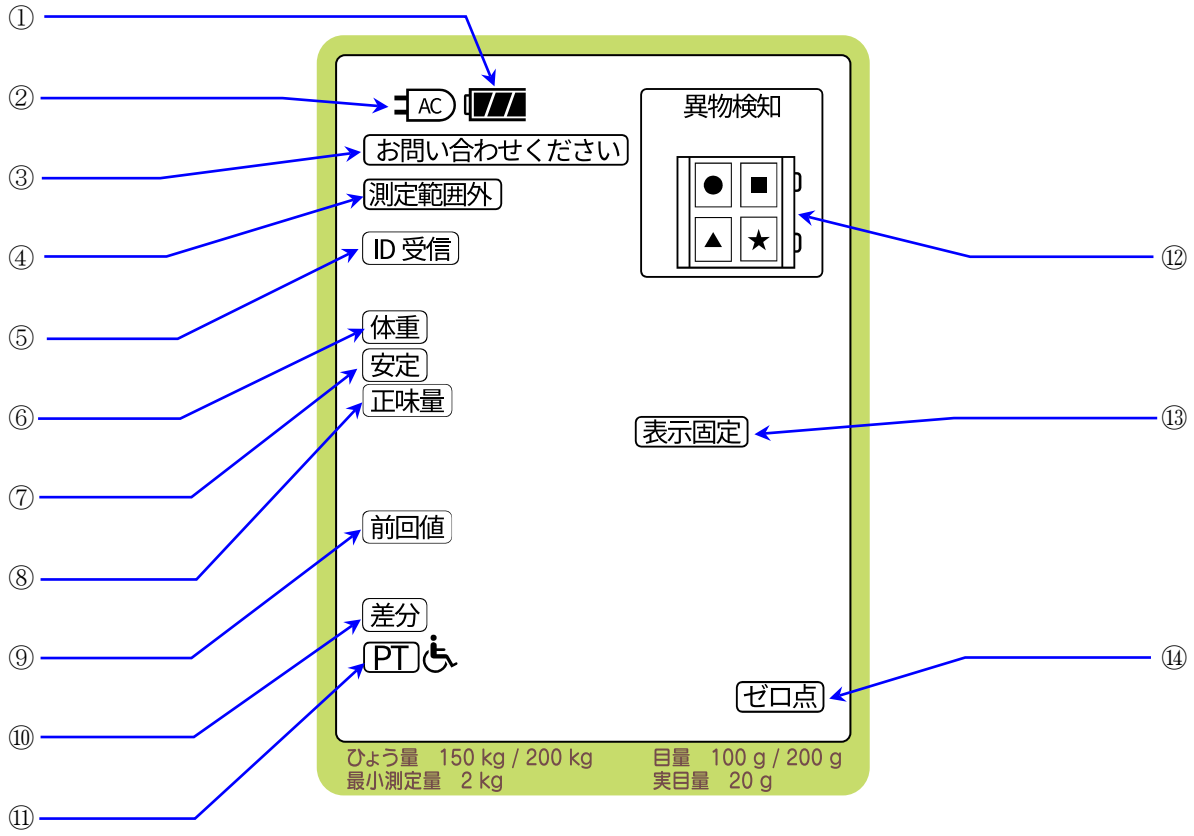
6.2.　表示器の説明

画面：数値



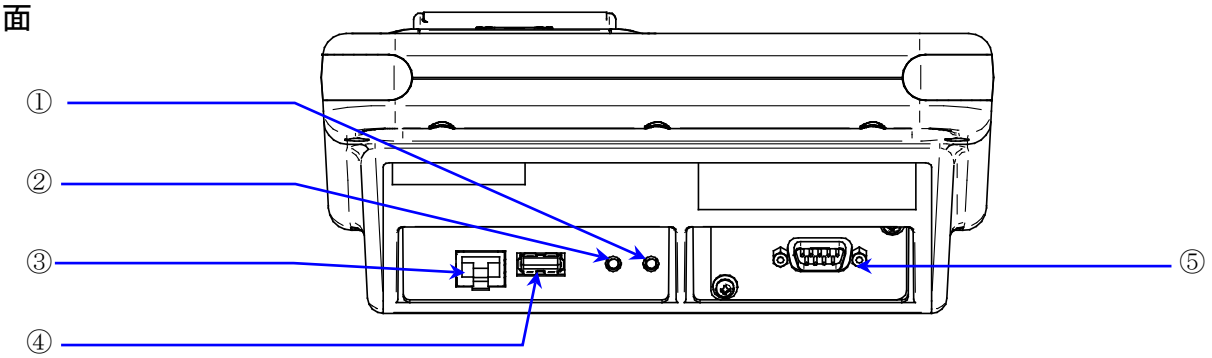
番号	名称	説明
①	ID	オプションのバーコードリーダーで記憶される、患者の ID が表示されます。
②	現在体重値	測定した体重値を表示します。なお、非接触スイッチをかざしている間は実目量を表示します。 実目量は 20 g 単位で通常より小さなサイズとなります。
③	前回体重値	過去測定した体重値を表示します。過去の測定値は、 オプションのバーコードリーダーから呼び出します。
④	プリセット風袋値 / 差分体重値	プリセット風袋としてあらかじめ差し引かれた質量値 または前回体重値と測定体重値の差分を表示します。

画面：記号



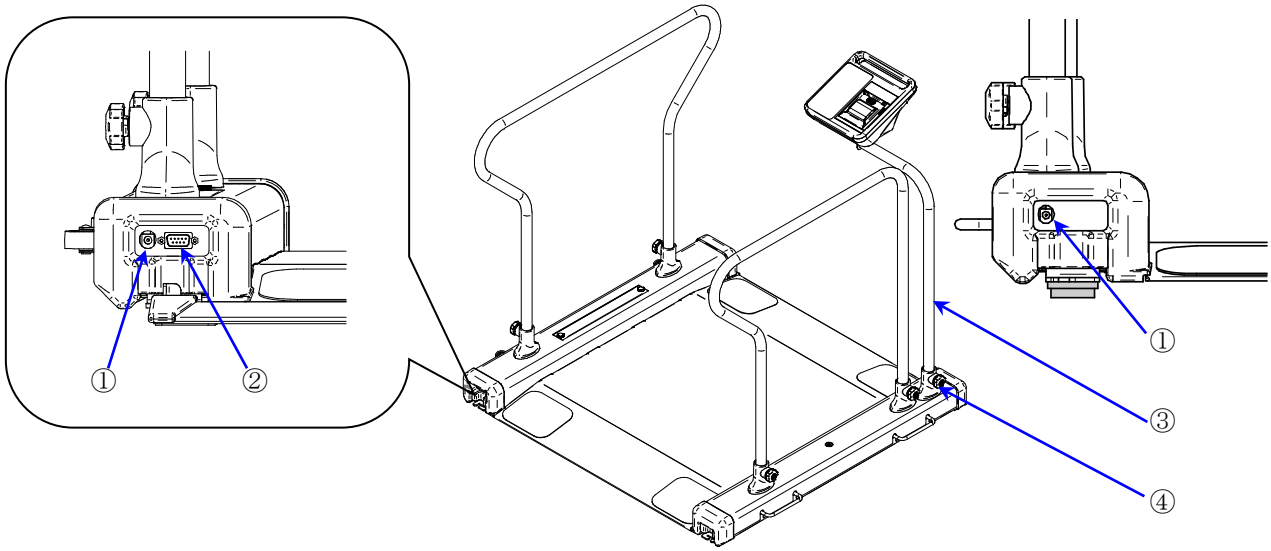
番号	名称	説明
①	電池	電源の残量に応じて点灯します。 ……電源は十分にあります ……すこし少なくなりました。 ……残りわずかです。早めに交換してください。 ……直ちに交換してください。
②	AC	AC アダプタで動作しているとき点灯します。
③	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知したとき点灯します。
④	測定範囲外	計量値が 201.6 kg を超えたときと、−1.9 kg 以下のとき点灯します。
⑤	ID 受信	付属バーコードリーダーから患者 ID が入力された時点灯します
⑥	体重	体重値とともに表示されます
⑦	安定	体重値が安定すると点灯します。
⑧	正味量	風袋引き測定、または車いす引き（プリセット風袋）測定をしている間点灯します。
⑨	前回値	過去に測定した体重値が表示されるとき点灯します
⑩	差分	前回値と測定値の差の値を表示されるとき点灯します
⑪	PT	車いす引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。
⑫	異物検知マーク	異物が挟まれている場合該当箇所が点灯します。
⑬	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
⑭	ゼロ点	体重値の 0.0 kg で点灯します。

背面

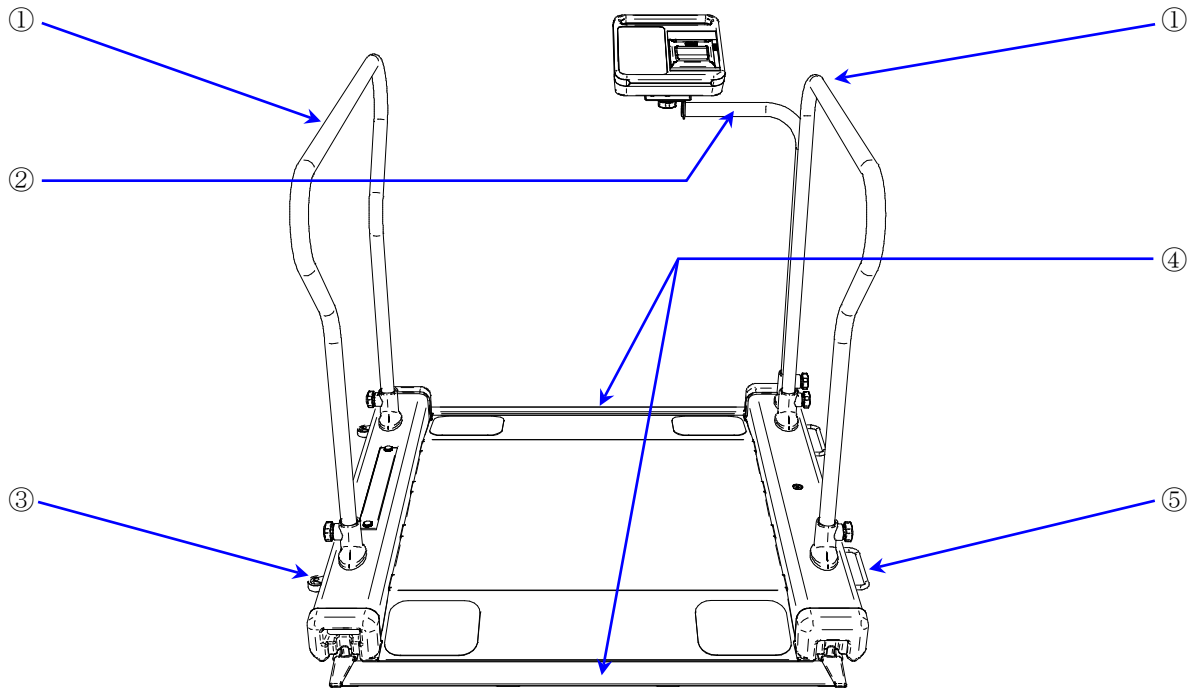


番号	名称	説明
①	USB タイプ A コネクタ	オプションバーコードリーダーを接続します。
②	拡張端子（標準） D-sub9 ピンコネクタ	外部 PC 等と通信ケーブルにより接続します。
③	設定 1	時計設定時に押します。
④	専用端子	計量台と表示器を接続します。
⑤	設定 2	使用しません。

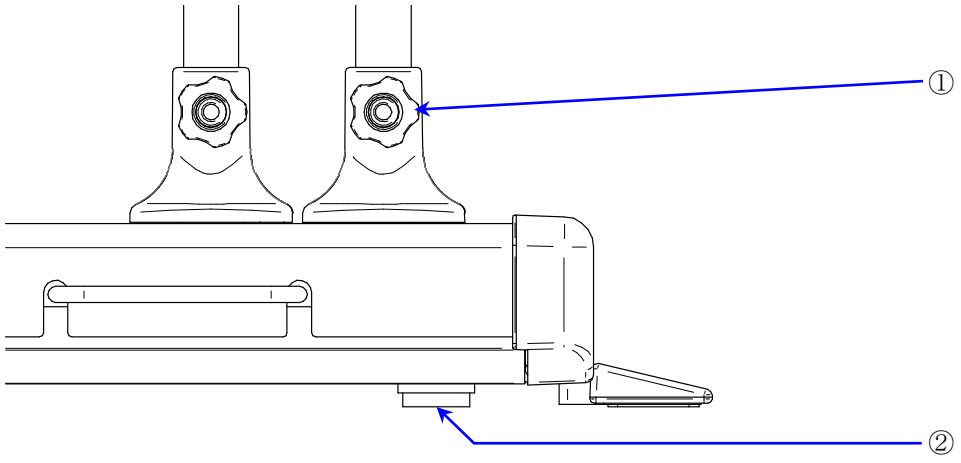
6.3. 計量台の説明



番号	名称	説明
①	AC アダプタジャック	標準付属の AC アダプタを挿入します。 2 ヶ所ありますので、設置に応じて選択ください。
②	拡張端子 D-sub9 ピンコネクタ	外部 PC 等と通信ケーブルにより接続します。
③	L 字ポール	表示器を固定するポールです。回転方向に動かすことができます。
④	アジャスタ	L 字ポール及び、手すりを固定します。



番号	名称	説明
①	手すり	体重測定中に体を支える手すりです。
②	L 字ポール	表示器を固定するポールです。回転方向に動かすことができます。
③	キャスター	微調整用のキャスターです。
④	別体スロープ	床置きのスロープです。
⑤	取っ手	移動や床面清掃の際に持ち上げる取っ手です。



番号	名称	説明
①	アジャスタ	L 字ポール及び、手すりを固定します。
②	足コマ	水平位置を調整します。

7.　ご使用の準備

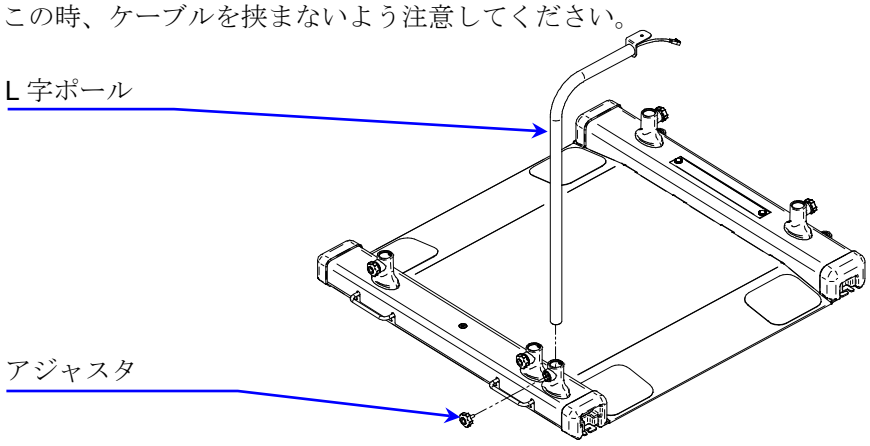
⚠注意	
	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器質量に十分耐えうる場所に設置してください。 ■ 設置の場所は、ケーブルや本体の突起部に周辺の人が、ひっかけたり、つまずかないようにご注意してください。 ■ L 字ポールを動かす際は必ずアジャスタを緩めてから動かすようにしてください。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないようにご注意ください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないようにご注意ください。

7.1.　開梱及び組立

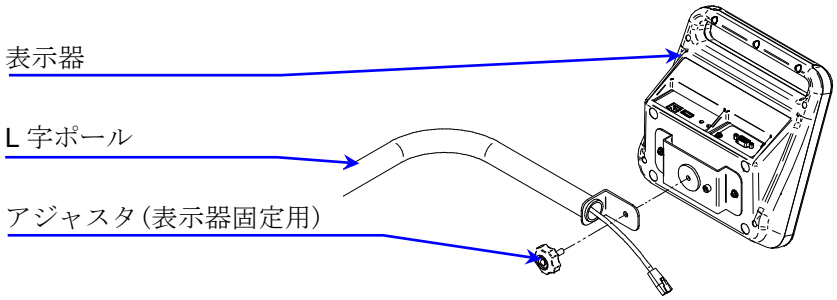
手順：

1. 梱包箱から本器を取り出します。
   この時、表示器を取り付ける L 字ポールのケーブルを引っ張ったり、傷つけないように注意してください。

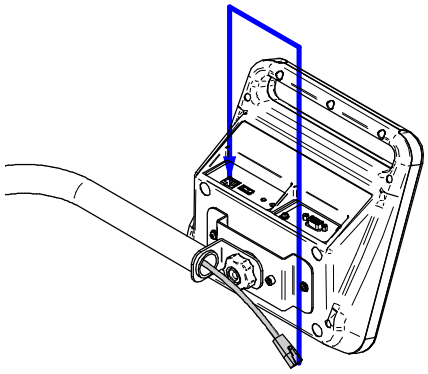
2. 計量台に L 字ポールを取り付けます。
   アジャスタのネジを緩めて L 字ポールを差し込み、ネジをしっかりと締めてください。
   この時、ケーブルを挟まないよう注意してください。

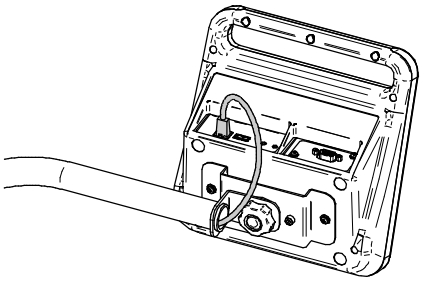


3. 付属のアジャスタを使用し，表示器を L 字ポールにしっかりと固定してください。
   取り付けの際は表示器のハンドル部分をしっかり握り、表示器を落とさないように注意してください。

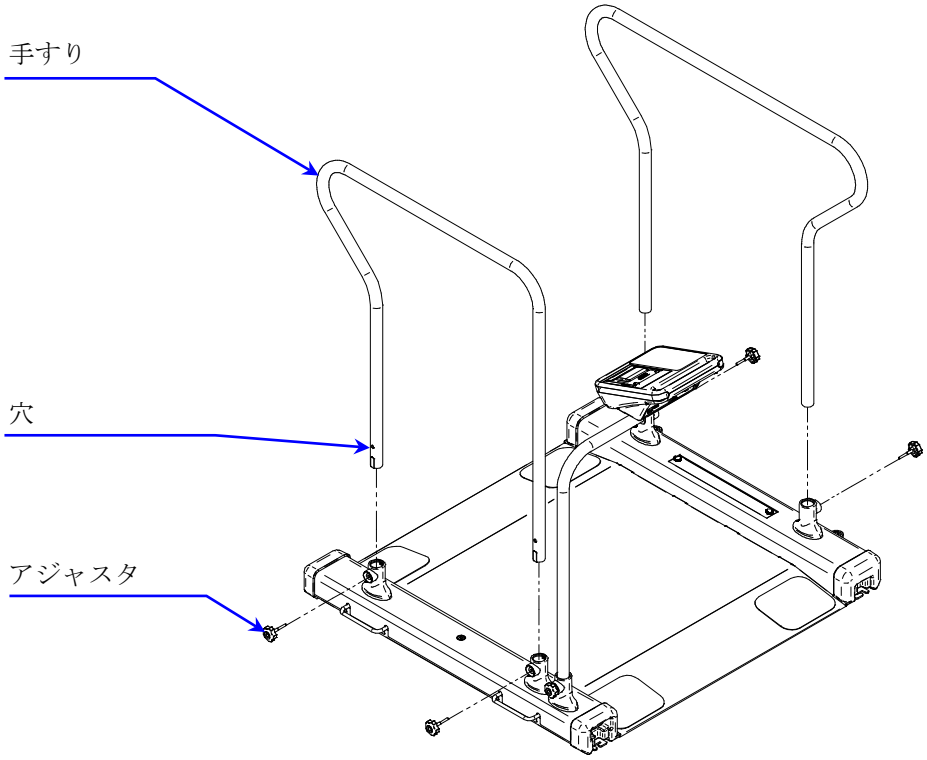


4.　表示の背面、専用端子にＬ字ポールから出ているケーブルを接続します。

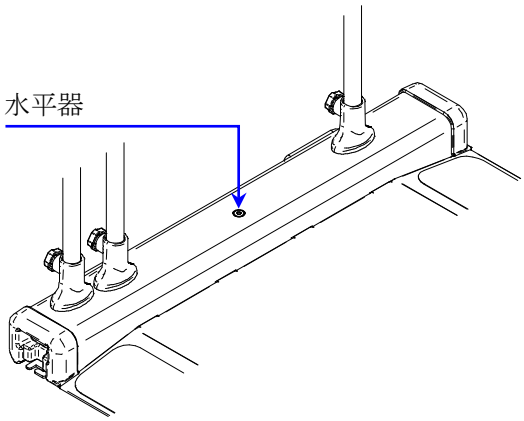


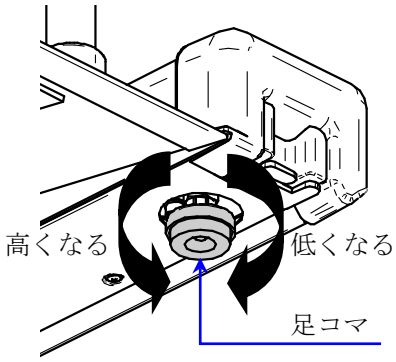


5.　アジャスタのネジを緩めて手すりの穴が外側を向く方向で差し込み、しっかりと締め直してください。



6.　水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。
計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。

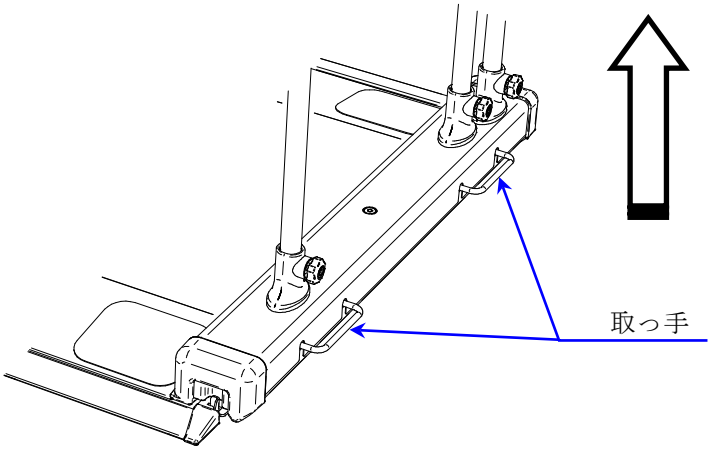




計量台を下から見た状態

清掃や微調整をする場合：

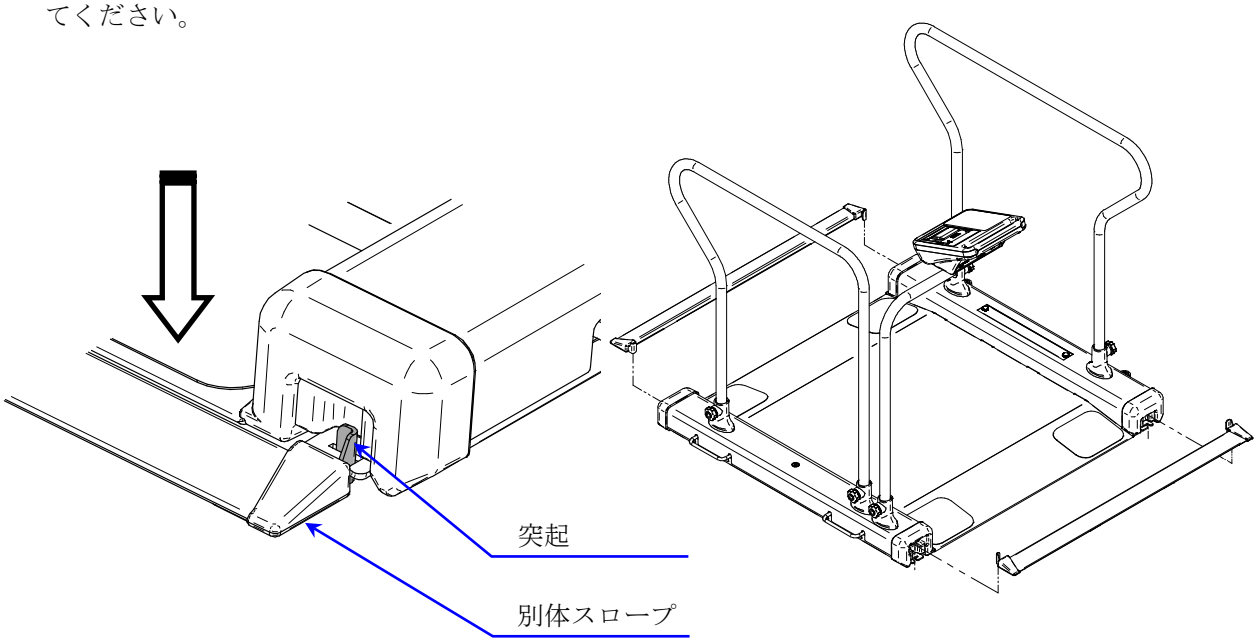
1. 接続されているすべてのケーブルを抜いてください。
2. 別体スロープは取り外してください。
3. 本体側面にある取っ手をしっかりと持って引き起こしてください。
4. ゆっくりと周囲にぶつからない事に気を付けて位置調整をしてください。



7.2.　別体スロープの設置

手順：

1. 先に本体を設置してください。
2. 別体スロープのすべり止めが床面になる方向にしてください
3. 図のように手を挟まないように注意して、本体の切欠き部に、スロープの突起部を合わせて上からおいてください。



⚠注意	
	■ 測定時に「スロープ」部分に荷重して計量値に変化がない事を確認してください。 ■ 別体スロープに触れた状態で測定を行うと計量誤差になります。 車いすを利用する際は、車輪が別体スロープと接触していないか確認してからご利用ください。
	■ 設置時には手を挟まないように注意してください。

7.3. 始業前点検

⚠注意

- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 可動部に破損はみられないか ■ ケーブル類がしっかりささっているか ■ 結露や水濡れはしていないか
本体	■ がたつき、破損などはないか ■ キャスター動作（転がり）が正常か ■ 手すり固定ノブが緩んでいないか

7.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他PC等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か ■ データに異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか

上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

⚠注意

- 手すりをもって持ち上げないでください。落下をしてケガする可能性があります。

お知らせ

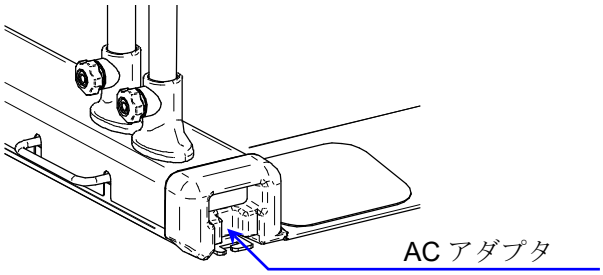
- 始業前点検時に点検モードを併用していただくことでより安全にご利用いただくことができます。
- 点検モードの使用方法については「9. 点検モードについて」をご確認ください。
- 始業前点検時に異物検知機能の初期化していただくことを推奨しています。
- 異物検知機能の初期化については「7.6. 異物検知機能」をご確認ください。

7.4. 電源の準備

7.4.1. ACアダプタ

手順：

1. AC アダプタを図の場所に挿入してください。
2. 製品対角に 2 か所ありますので、設置状況に合わせて挿入してください。

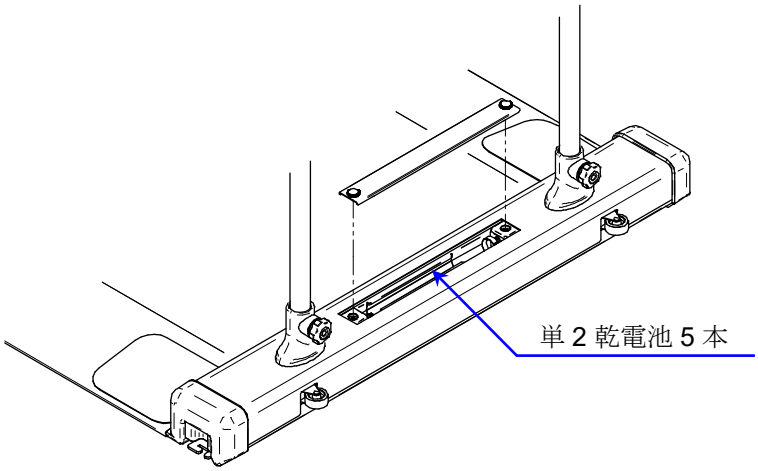


7.4.2. 乾電池

乾電池は主に非常時にお使いください。

手順：

1. つまみを回して電池カバーを外します。
2. 刻印を見て方向に注意して単二型乾電池を 5 個入れて、再び電池カバーを取り付けてください。



⚠注意	
!	■ 電池は刻印に従い正しい向きに入れてください。 ■ 乾電池は非常時動作用であり、AC アダプタで使用できる場合は使用しないでください。 ■ 印字動作中は表示が薄くなります。

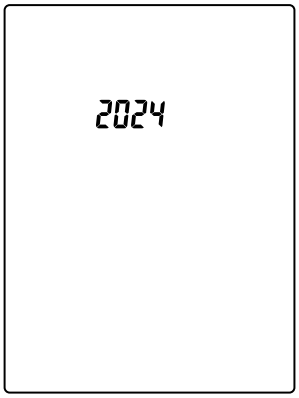
7.5.　時計設定

下記の方法で日付・時刻を設定してください。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力することができます。

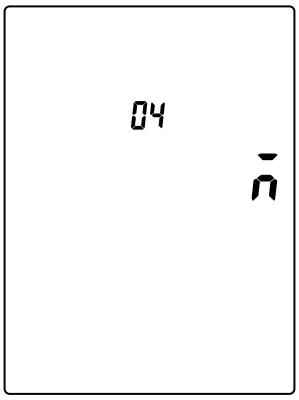
手順：

1. ON OFF スイッチを押して 00 kg が表示されたら、
表示器裏面の ●（設定 1）スイッチを 1 秒以上押してください。

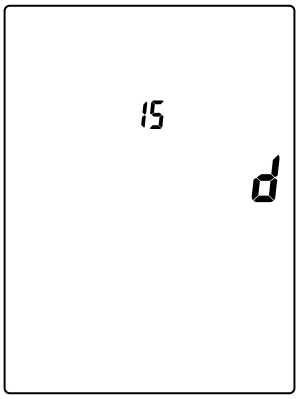
2. メイン画面に西暦が点滅表示します。 ▲ 、 ▼ スイッチで西暦を合わせてください。



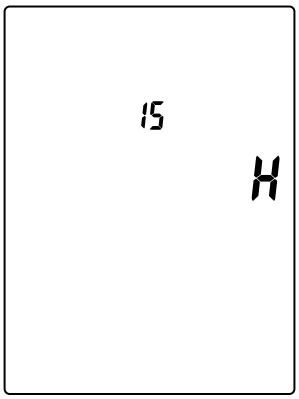
3. ゼロ スイッチを押すと設定され、メイン画面に月が点滅表示します。
▲ 、 ▼ スイッチでお使いの月に合わせてください。



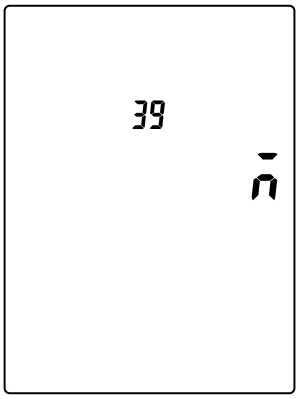
4. ゼロ スイッチを押すと設定され、メイン画面に日が点滅表示します。
▲ 、 ▼ スイッチでお使いの日に合わせてください。



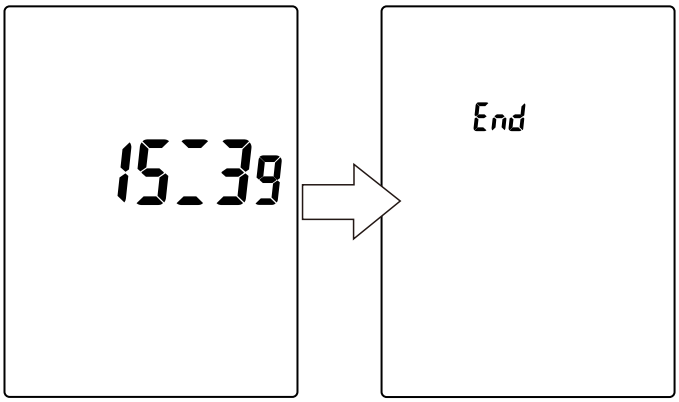
5. ゼロ スイッチを押すと設定され、メイン画面に時刻が 24 時間で点滅表示します。
▲ 、 ▼ スイッチでお使いの時刻に合わせてください。



6. ゼロ スイッチを押すと設定され、メイン画面に分が点滅表示します。
▲ 、 ▼ スイッチでお使いの分に合わせてください。



7. ゼロ スイッチを押すと設定されます。
メイン画面に“時：分”表示された後、
End の文字があらわれ設定は完了します。



8. 時計設定後、電源は自動で OFF になります。

お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2024 ～ 2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です（閏年対応）。
- 時刻設定中に ON OFF スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

7.6.　異物検知機能

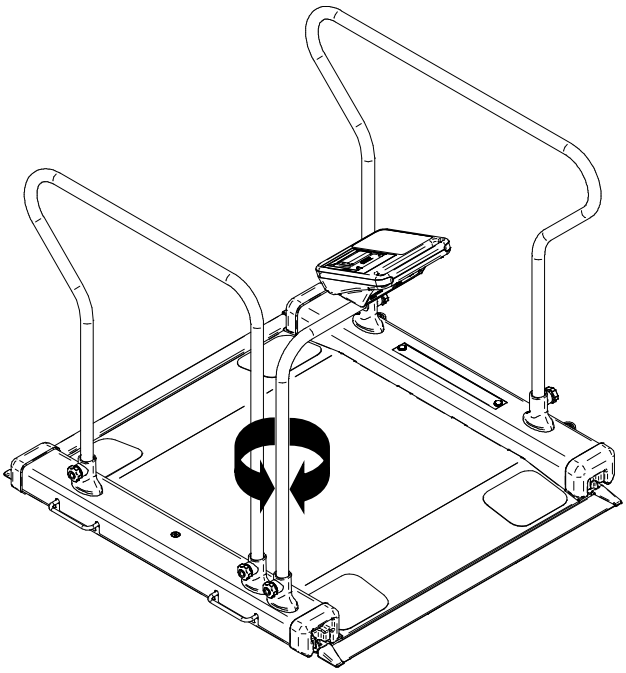
異物検知機能は、計量誤差の要因となります計量台への挟み込みを検知する機能です。
計量台の下に入り込んだ細かい砂やほこり、計量台に接触しない小さな異物につきましては検知しません。
異物検知機能を使用する場合は「12.1. ファンクション設定方法」の手順に従い、F35 異物検知機能を有効にしてから「7.6.1. 初期設定」を実施してください。

異物検知機能	F35 異物検知機能	7.6.1. 初期設定
使用する	1　有効	必要
使用しない	0　無効	不要

7.6.1.　初期設定

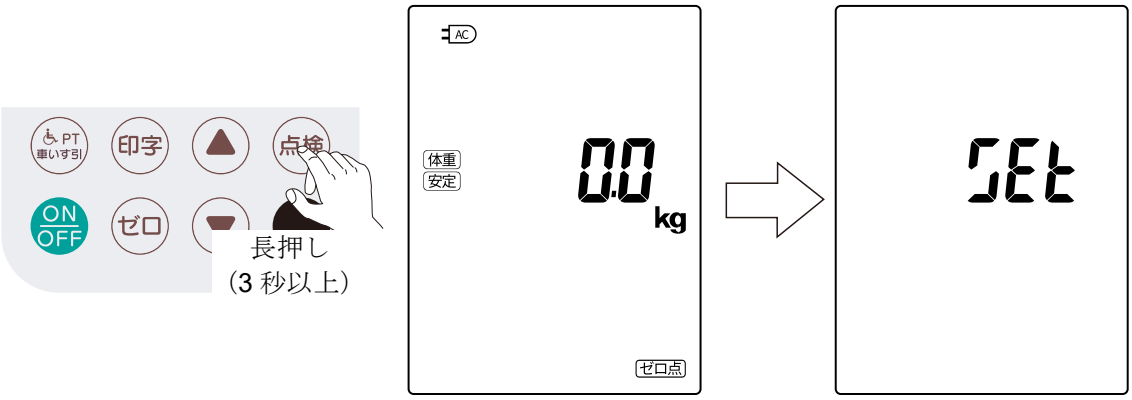
手順：

1. L 字ポール根本のアジャスタのねじを緩め、
   表示器を使用位置に合わせます。
   アジャスタのねじをしっかりと締め、固定します。



2. ON/OFF スイッチを押して電源を入れます。

3. 点検 スイッチを 3 秒以上長押しして、画面に SEt と表示されたら手を離します。



4. ---- 表示がされた後、 oK と表示されると異物検知機能の初期化が実行されます。

7.6.2. 動作

電源投入時計量台の下に台が浮くような大きさの物が挟まっていると、下図のように表示されます。
一度台を持ち上げて表示のマークに該当する箇所をご確認ください。

マーク	計量台の箇所
■	取っ手を右側とした時に真上から見て右上の個所
★	取っ手を右側とした時に真上から見て右下の個所
●	取っ手を右側とした時に真上から見て左上の個所
▲	取っ手を右側とした時に真上から見て左下の個所

お知らせ

- 異物検知機能が誤動作する際は異物検知機能の初期化を再度実施していただくことで改善する場合がございます。
- 異物検知機能の初期化後は計量台や表示器の位置を移動させないでください。異物検知機能が誤動作する恐れがあります。
- 計量台を移動させたり、表示器の位置を移動させた際は再度異物検知機能の初期化を実施してください。
- 異物検知機能の初期化は定期的に実施していただくことを推奨しています。始業前点検で実施していただくことでより安全にご利用いただけます。

7.7. プリンタ

お知らせ

- プリンタを使用しない場合は、ファンクション F25 印字タイミングの設定を「0 無し」に設定して、使用してください。
- ファンクション F25 印字タイミングの設定を「0 無し」に設定することで、プリンタエラーを非表示にすることができます。
- 設定方法は「12. ファンクション設定」を参照してください。

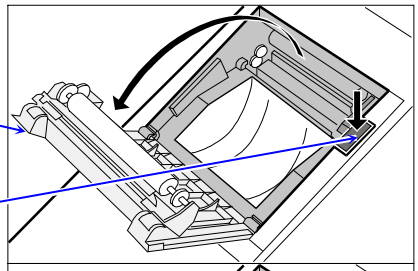
7.7.1. プリンタ用紙の装着方法

⚠注意

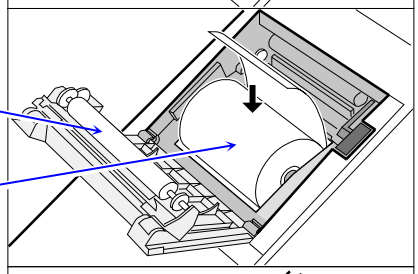
🚫	■ プリンタ用紙を印刷中に引っ張らないでください。プリンタヘッドを損傷する恐れがあります。 ■ 用紙排出口から金属類や燃えやすいものを入れないでください。 ■ オートカッタ付近に指及び金属類を挿入しないでください。けがやカッタ破損の恐れがあります。
❗	■ 長距離を搬送する場合は短く切った用紙をプリンタ用紙挿入口にはさんでください。 プリンタ用紙をロールごと入れた状態で搬送すると用紙とケースがこすれて印字不良を起こす可能性があります。

手順：

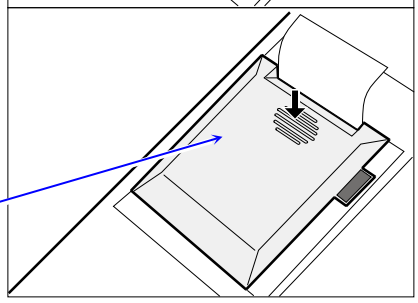
1. ［プリンタカバーオープン］ボタンを押して、プリンタカバーを開けてください。



2. プリンタ用紙を、図の向きにセットします。



3. 用紙の端を上側に持ち上げた状態で、「カチッ」と音がするまでプリンタカバーを閉め、プリンタ用紙を固定します。完全に閉じられていない場合は紙詰まりの原因となります。



下記の表示は、プリンターエラーです。表示に応じて対処してください。

エラー表示	エラー内容、対処の仕方
PE	プリンタ用紙がなくなりました。新しいプリンタ用紙をセットしてください。
Po	プリンタカバーが開いています。プリンタカバーをしっかり押して閉めてください。
Pc	オートカッタのエラーです。プリンタカバーを一度開けて、プリンタ用紙を確認してから、プリンタカバーを押して閉じてください。

お知らせ

- プリンタ用紙の装着方向を間違えると、印字されません。
- プリンタ用紙は弊社の純正品をご使用ください。純正品以外を使用した場合、印字が薄くなったり、紙詰まり等の故障の原因となります。
- プリンタ用紙は残り約 60 cm になると、朱色のエンドマーク（両側に朱色の線）が出てきますので、プリンタ用紙を新しいものと交換してください。
- プリンタ用紙は感熱紙を使用しています。
  変色したり、印字が退色したりしますのでご注意ください。
  - 変色されるものの例
    糊、有機溶剤を含むサインペン、接着剤。
  - 退色させるものの例
    蛍光ペン、テープ、保存するときの透明ケース、下敷き、日光、紫外線。

  上記の理由により、測定結果を保存する場合はコピーを取って保存してください。

7.8. プリンタヘッドのメンテナンス

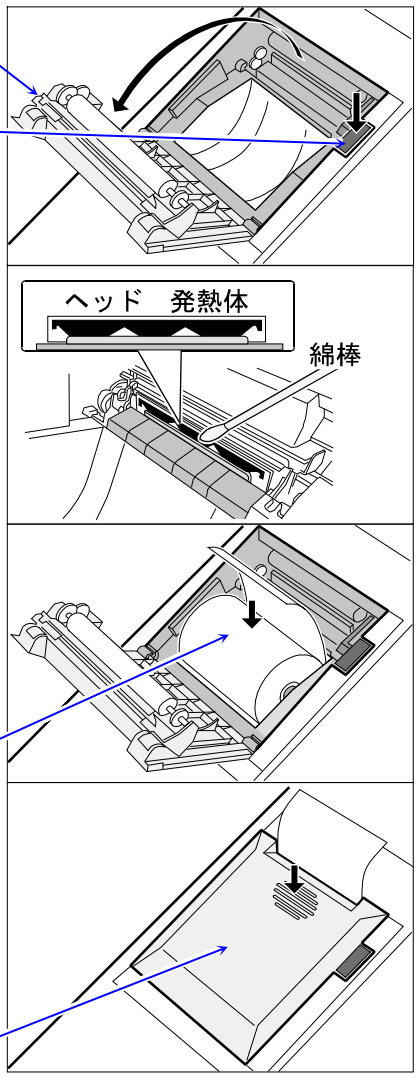
用紙カス、または異物付着などにより、印字した文字が部分的に印刷されなくなったり、紙送りしなくなることがあります。これらを予防、または除去するために下記の手順に従いプリンタヘッド及び、紙送りローラをクリーニングしてください。

⚠注意

- ヘッドのクリーニングは電源を必ず OFF にして、ヘッドが十分冷めてから実施してください。火傷のおそれがあります。
- プリンタ構成部品のエッジ部(特に金属部品)に手を触れるとけがをするおそれがありますので、取扱には十分注意してください。

手順：

1. ［電源］スイッチを OFF にしてください。



2. ［プリンタカバーオープン］ボタンを押してプリンタカバーを開けてください。

3. アルコール（エチルアルコールまたは、イソプロピルアルコール）をしみ込ませた綿棒か柔らかい綿布でヘッドの発熱体の汚れ、異物をヘッドに力をかけないよう軽くふき取ってください。

4. プリンタ用紙収納ボックスに付着したごみ、ほこり、紙粉等の異物もふき取ってください。用紙経路に異物が混入すると紙に付着し印字品質が低下する場合があります。

5. 紙送りローラに付着したごみ、ほこり、紙粉等の異物もふき取ってください。紙送りローラに異物が付着すると、正しく紙送りができなくなります。

6. アルコールが完全に乾いてからプリンタ用紙をセットしてください。

7. 用紙の端を上側に持ち上げた状態で、「カチッ」と音がするまでプリンタカバーを閉め、プリンタ用紙を固定します。完全に閉じられていない場合は紙詰まりの原因となります。

お知らせ

- ヘッドのクリーニングの際、静電気によるヘッドの破損等のトラブルのおそれがありますので、静電気には注意してください。
- ヘッドのクリーニングにサンドペーパ等、発熱体を破損するおそれのあるものは使用しないでください。
- 印字用紙のセット、及び電源投入はアルコールが完全に乾いた後で行ってください。

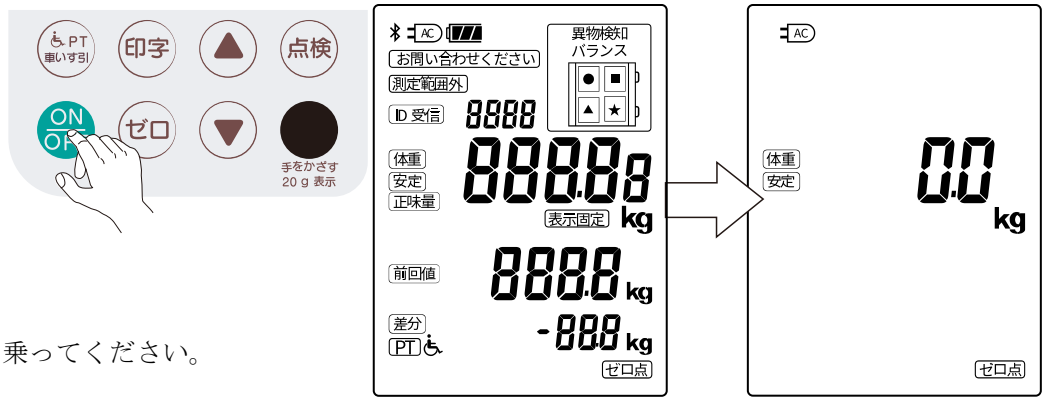
8.　測定方法

⚠注意	
!	■ 計量台に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。 ■ 歩いて乗る場合はスロープと床の段差に注意して、計量台に乗ってください。 ■ 車いすで乗る場合は決して一人では乗らず、介助者により注意してスロープの中心から計量台に乗ってください。乗った後は必ず車いすのブレーキをかけてください。

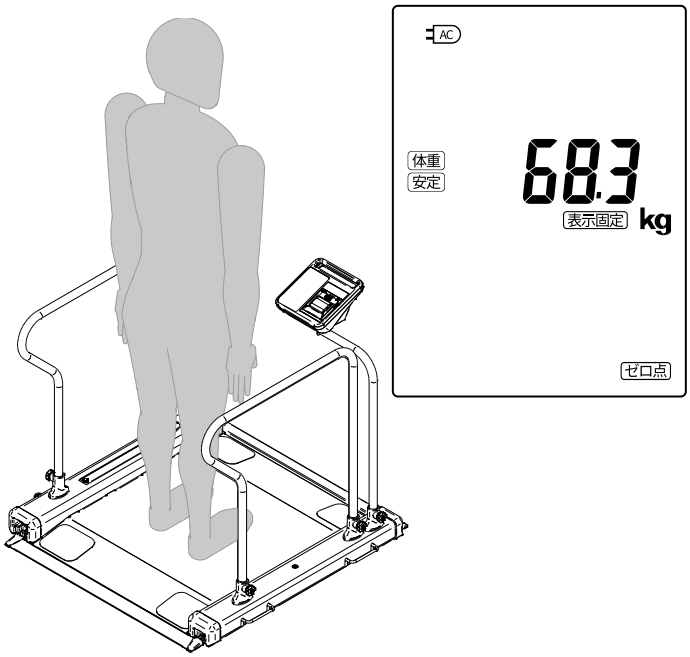
8.1.　体重をはかる

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
3. 全点灯表示後、「体重」マークと共に体重表示が 0.0 kg 表示となり「安定」「ゼロ点」マークが点灯します。0.0 kg 表示になっていない場合は、ゼロ スイッチを押してください。



4. 計量台に静かに乗ってください。
5. 体重が安定すると「安定」と「表示固定」の表示が点灯し、体重値が表示固定されます。このとき、出荷時設定では自動で時刻とともに体重値が印字されます。
6. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定 OFF にします。
7. オプションのバーコードリーダーをご使用され、該当する記憶データが読み込まれますと、過去測定した体重値が「前回値」マークと共に表示され、「差分」マークと共に、差分の体重値が表示されます。



お知らせ

- 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。
  体重値が 200.16 kg を超えると測定範囲外になり、 E を表示します。

体重計の安定速度設定方法

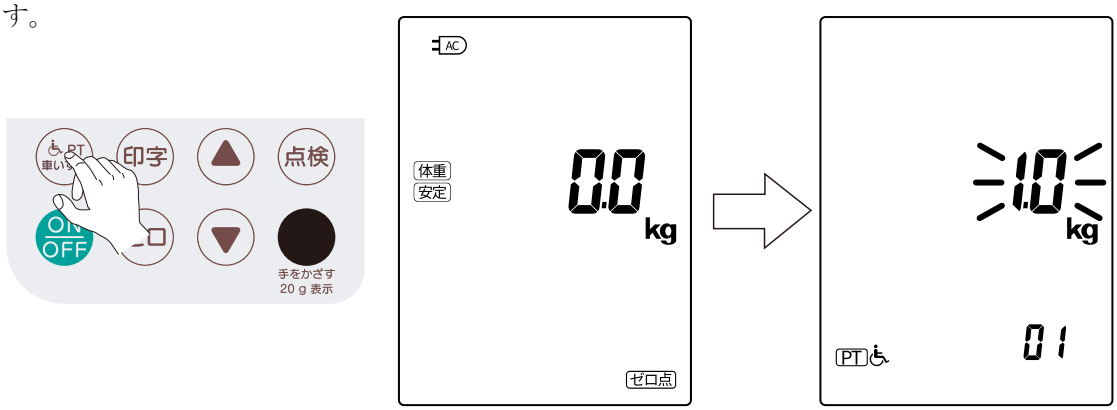
- ファンクション F38 安定速度設定は、体重値の安定までの時間を調整します。
- 設定値を速くすると、体重値の安定までの時間が短縮されますが、ばらつきが大きくなる恐れがあります。
- 患者の状態に応じて、適切に設定値を選択し、計量の精度と速度のバランスを選んでください。
- 設定方法は「12. ファンクション設定」を参照してください。

8.2.　車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

8.2.1.　車いすの重さとして9.0 kg引くとき

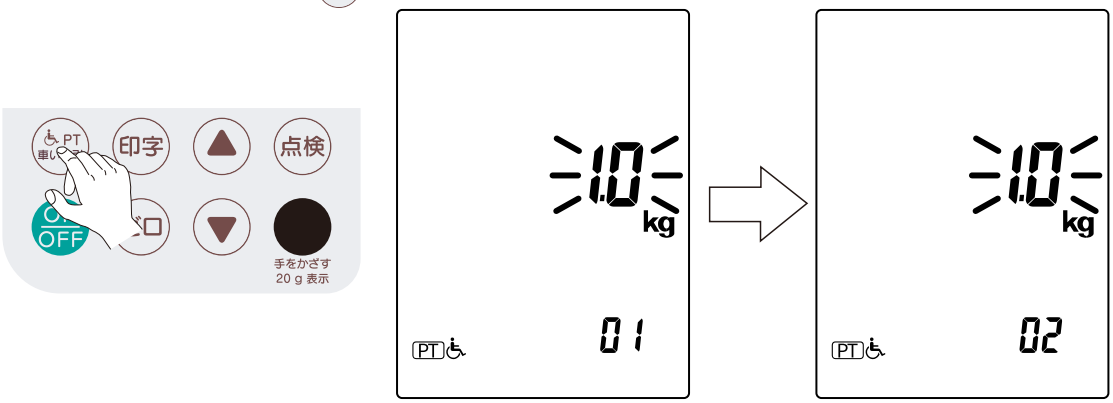
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
3. 全点灯表示後、 0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「体重」マーク、「ゼロ点」マークが点灯します。
4. PT 車いす引 スイッチを押すと画面が点滅し、初期の車いす引き量（プリセット風袋量） 1.0 kg が表示されます。



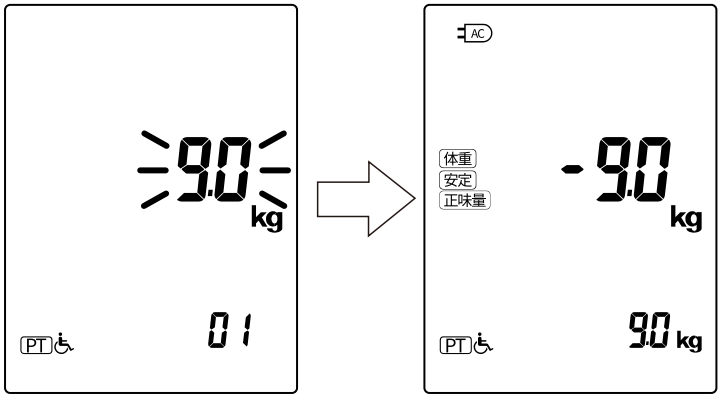
点滅中に ▲ ▼ スイッチを押すと 0.1 kg 単位で設定量を変更できます。

車いす引き量選択画面で再度 PT 車いす引 スイッチを押すことで、2 種類の車いす引き量を選択できます。



5. スイッチを押してしばらくすると引き量が決定します。

   「正味量」マークが点灯し、画面下部に 「PT」マークと現在の車いす引き量が表示されます。



6. 以降、「8.1. 体重をはかる」に従って測定してください。
7. 測定後、プリセット風袋引き測定を解除したい場合は、 PT 車いす引 スイッチを長押しすることで通常測定に戻ります。

8. プリセット風袋引き測定中に、 PT 車いす引 スイッチを押すことで再度、プリセット風袋設定画面に入ることができます。

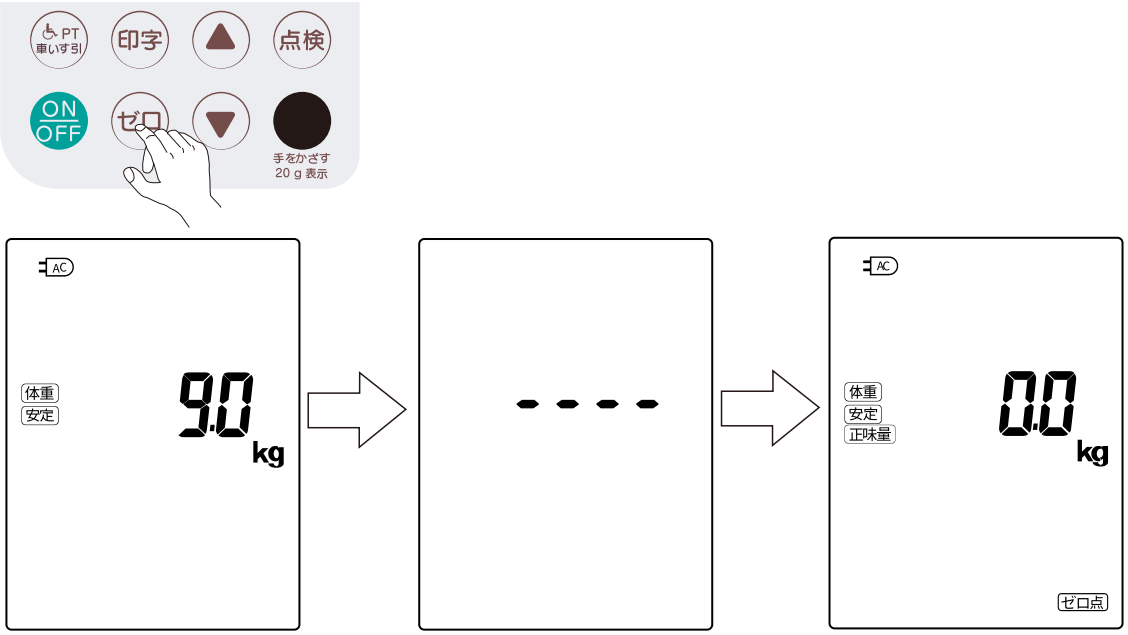
お知らせ

- 車いすの重さ（プリセット風袋量）として差し引く重さは 0.1 kg から 90.0 kg までです。
- ゼロ スイッチ押したとき、計量台に 4.0 kg 以上の荷重がある場合は、風袋引き測定となります。
- 車いす引き量は 2 種類保存できます。
- PT 車いす引 スイッチは計量台に物が載っていない状態でのみ動作します。

8.3. 正確な服やシーツなどの重さを引くとき（風袋引き機能）

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. ON OFF スイッチを押して測定 ON にします。
3. 計量台の上に、シーツや服などを載せて表示が安定したら、 ゼロ スイッチを押すと、「正味量」マークと共に 0.0 kg と表示されます。



約 4.0 kg 以下は ---- 表示後 0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
約 4.0 kg を超える場合は ---- 表示後 0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークと「正味量」マークが点灯します。

4. 以降、「8.1. 体重をはかる」に従って測定してください。

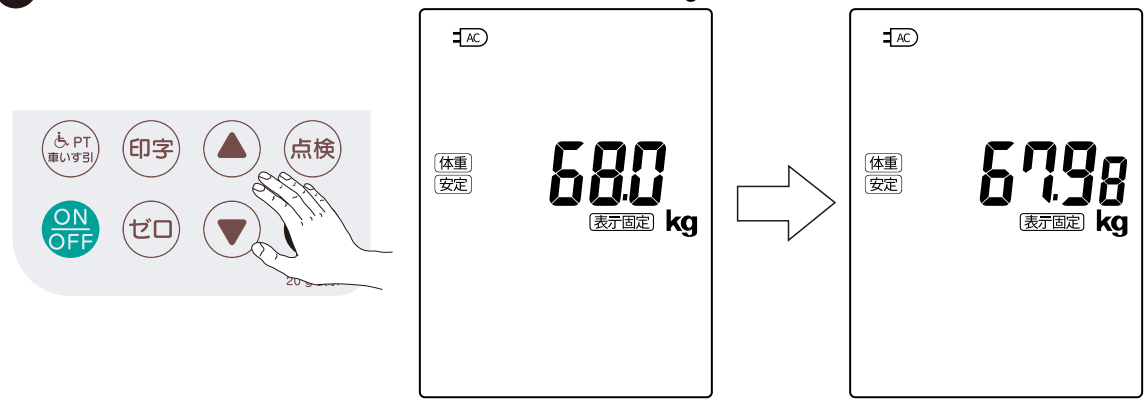
ゼロ スイッチ使用時のご注意

- 計量台に載せたモノの質量が 2.0 kg ～ 4.0 kg のとき、 ゼロ スイッチを押すと、表示は 0.0 kg になりますが、その後、モノを取り除くと、 -2.0 kg と表示せずに -E と表示されます。
- 「安定」マークが点灯している場合は、 ゼロ スイッチを押して表示を 0.0 kg にします。
- 「安定」マークが点灯していない場合は、一度電源を入れなおしてください。

8.4.　より細かな値を表示する（実目量 表示）

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. ON OFF スイッチを押して測定 ON にします。
3. ● スイッチに手をかざすと、約 5 秒間実目量として 20 g 単位で表示されます。



⚠注意

- 実目量表示の値は取引証明に使用することはできません。
- 実目量表示中は印字動作を行うことができません。

お知らせ

- ファンクションの設定により下記の設定を変更できます。
- 実目量点灯時間（かざしている間のみ点灯、かざしてから 5 秒間点灯、点灯しない）
- 実目量センサ感度（弱、中、強）
- 実目量センサ周辺光量（弱、中、強）
- 周辺光量設定はご使用になられる環境が明るい場所でご使用の際に、実目量センサの反応が悪い場合に変更してください。
- 設定方法については「12. ファンクション設定」をご確認ください。
- 起動時に IR センサ部を塞いでいた場合、実目量表示がされない恐れがありますのでご注意ください。
- 手をかざしても実目量が表示されない、反応が悪い場合は電源を入れなおしていただくことで改善することがあります。

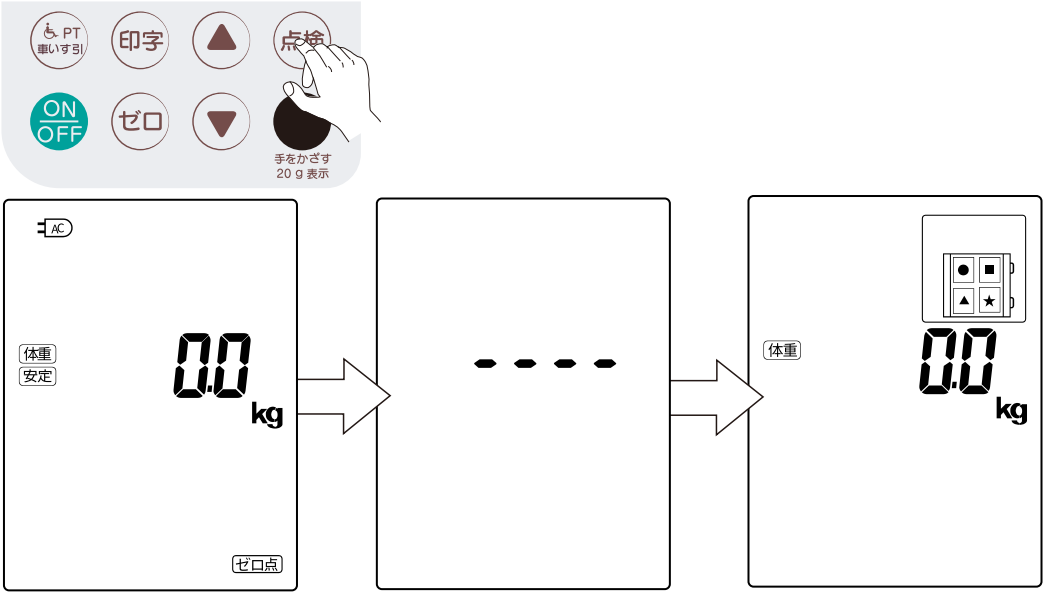
9.　点検モードについて

本器は以下の手順により、お使いになる方自身の体重値を利用して、点検が行えます。

手順：

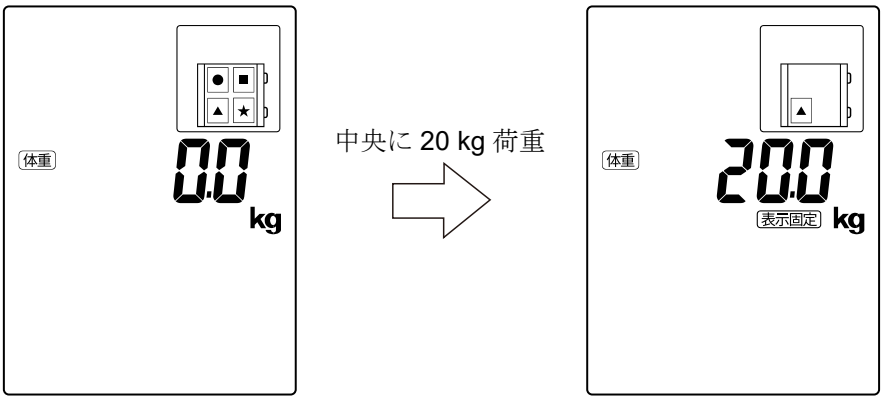
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
3. 計量台に何も載せていない状態で 点検 スイッチを押します。

   ---- 表示後、荷重する位置のマークと 0.0 kg が表示されます。



4. 荷重位置を示すマークが表示されるので、マークに合わせて 4 kg 以上のものを荷重してください。
   表示固定後は±1.0 kg 以上値が変動することで表示固定が解除されます。

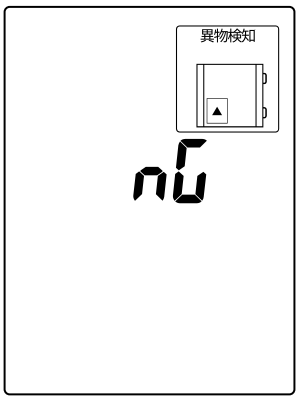
例 20kg を荷重して点検を行う場合



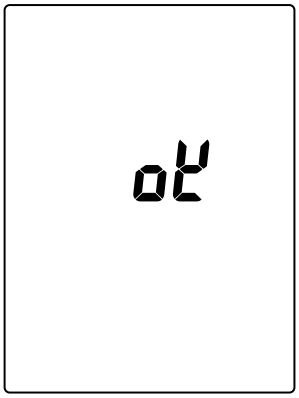
20 kg を荷重して点検を行った場合、20 kg を荷重し安定すると、表示固定マークと共に次の荷重位置が右上に表示されます。下記の表の順に従って荷重を 5 回実施します。

順番	箇所
1	▲●■★（中央）
2	▲
3	●
4	■
5	★

5. 異物など誤差がある場合は nG と問題となる場所のマークが表示されるので、計量台を持ち上げてご確認ください。



6. 問題がなければ oK と表示されます。



7. 点検 スイッチを押すことで点検を終了します。

⚠注意	
!	■ 計量台に約 4.0 kg を超えるモノが乗っている場合 ---- から切り替わりません。 ■ この機能は簡易点検機能です。「7.3. 始業前点検」は必ず実施してください。

10. 標準バーコードリーダオプションの利用

標準バーコードリーダーAX-BCR-USBA を利用すると、患者様の ID 管理やプリセット風袋を記憶できます。

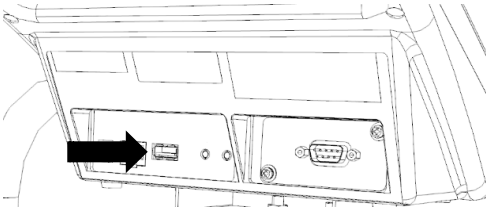
⚠注意	
!	■ 必ず指定のバーコードリーダーAX-BCR-USBA をご利用ください。 ■ その他バーコードリーダー、カードリーダをご利用する場合は弊社までご相談ください。 ■ 延長ケーブルと組み合わせたり、他の製品を接続されると、計量値の保証対象外となります。
🚫	■ 表示部上部の隙間に標準バーコードリーダーを入れないでください。 標準バーコードリーダーが落下する恐れがあり、けがの原因や本器の故障につながる可能性があります。

※ 保存する件数は、患者 ID、プリセット風袋 ID 合わせて 360 件となります。

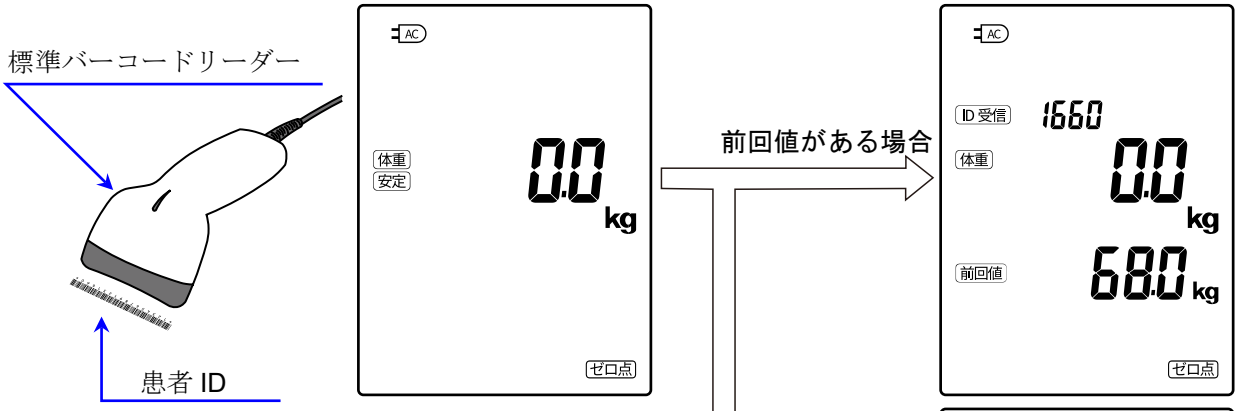
10.1.　患者IDによる前回値表示

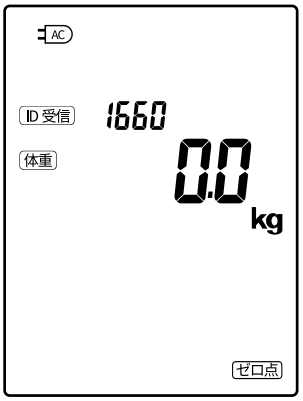
手順：

1. 「12.1. ファンクション設定方法」の手順に従い、F37 ID 管理機能の設定を有効にする。
2. 測定を開始する前に電源の確認をして標準バーコードリーダーを、背面 USB タイプ A 接続口につなげてください。



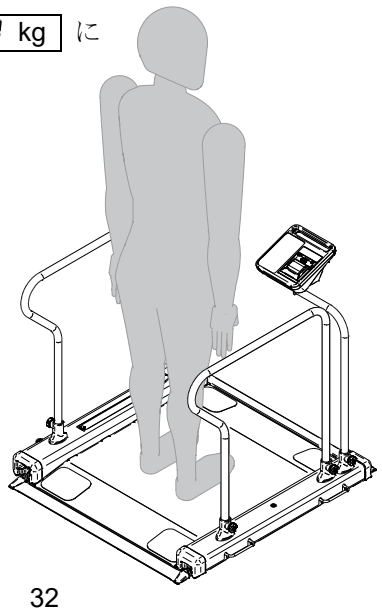
3. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
4. 全点灯表示後、 0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
5. ゼロ点マークが点灯中に標準バーコードリーダーで患者 ID を読み込みます。
6. 過去に測定した体重値があれば 3 段目に「前回値」マークと共に表示されます
   1 段目には「ID 受信」マークと共に ID の下 4 桁が表示されます。

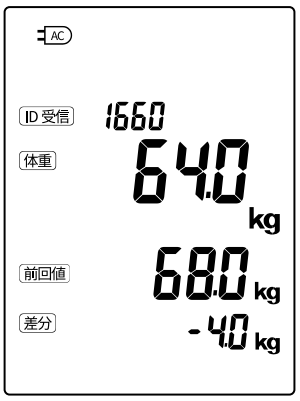




前回値がない場合

7. 「8.1. 体重をはかる」に従って測定します。
8. 体重値が安定すると、過去に測定した体重値があれば差分が 4 段目に「差分」マークと共に表示されます。
9. 測定した体重値は、ID と共に記憶されます。
10. 測定後、体重計から降り、画面の表示が 0.0 kg に戻ると ID は自動で消灯します。

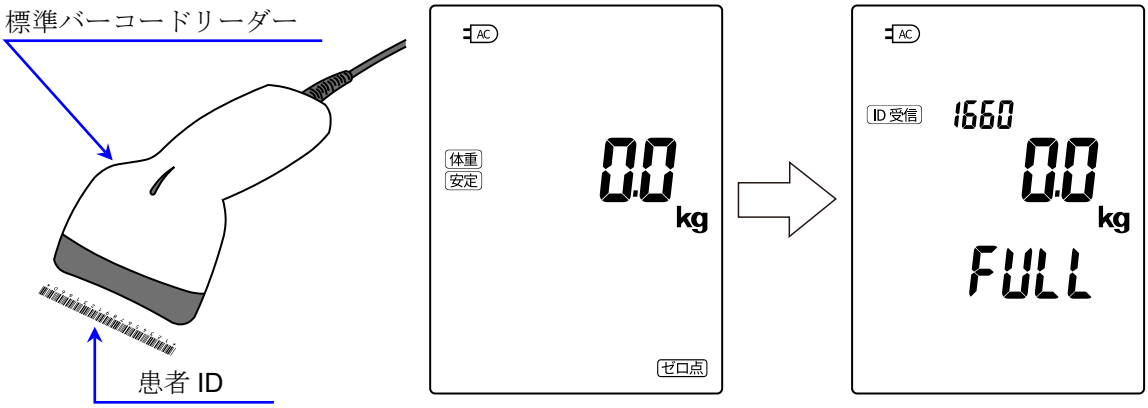




10.1.1.　ID保存件数が上限に達した場合

ID の保存件数が上限に達している状態で、新規の ID を読み込むと「FULL」と表示されます。
この状態で測定を行った場合、保存 ID 内の一番古い患者 ID データに上書き保存されますのでご注意ください。

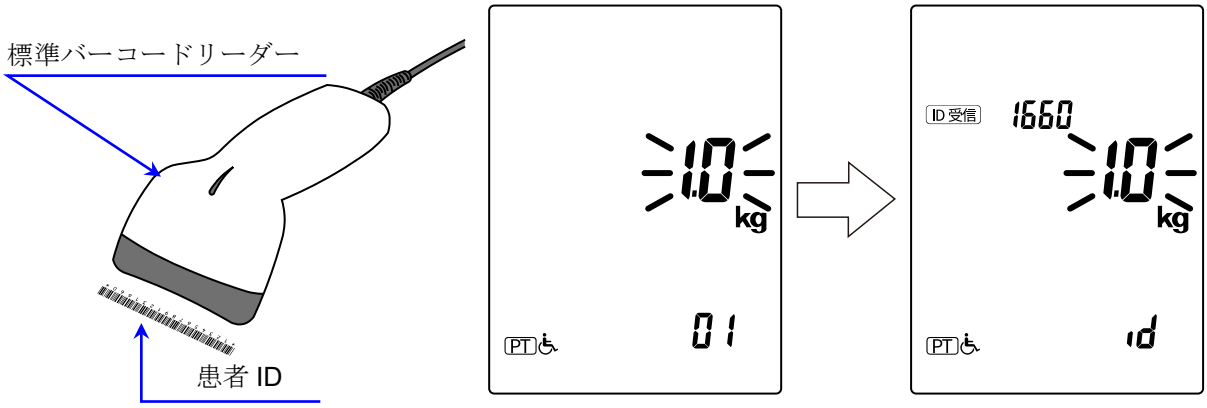
ID 保存件数が上限に達している場合



10.2. 車いす引き量のIDの呼び出し、変更、保存

手順：

1. 「12.1. ファンクション設定方法」の手順に従い、F37 ID 管理機能の設定を有効にする。
2. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
3. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。
4. 全点灯表示後、 0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
5. PT 車いす引 スイッチを押すと画面が点滅し、車いす引き量（プリセット風袋量）が表示されます。
6. 車いす引き量選択画面で ID を読み込むことで、ID に保存された車いす引き量が自動で設定されます。
   ID に既に車いす引き量が保存されている場合はその値が表示され、初回時は 1.0 kg が表示されます。

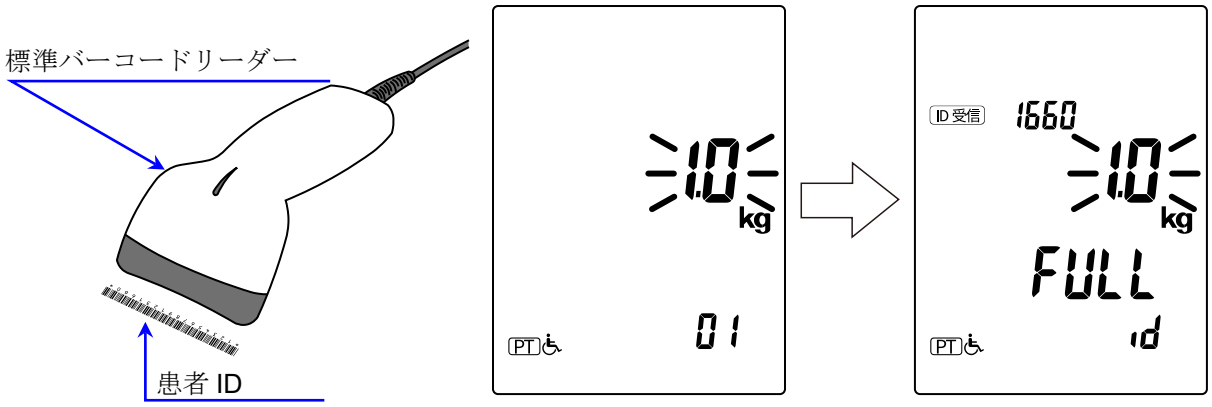


   点滅中に ▲ ▼ スイッチを押すと 0.1 kg 単位で設定量を変更できます。
7. スイッチを押してしばらくすると引き量が決定し、設定値を保存します。
   「正味量」マークが点灯し、画面下部に現在の車いす引き量が表示されます。
8. 「8.1. 体重をはかる」に従って測定します。
9. 測定後、プリセット風袋引き測定を解除したい場合は、 PT 車いす引 スイッチを長押しすることで通常測定に戻ります。
10. プリセット風袋引き測定中に、 PT 車いす引 スイッチを押すことで再度、プリセット風袋設定画面に入ることができます。

10.2.1.　ID保存件数が上限に達した場合

ID の保存件数が上限に達している状態で、車いす引き量選択画面にて新規の ID を読み込むと「FULL」と表示されます。
この状態で、車いす引き量の設定が完了すると、保存 ID 内の一番古い患者 ID データに上書き保存されますのでご注意ください。

ID 保存件数が上限に達している場合

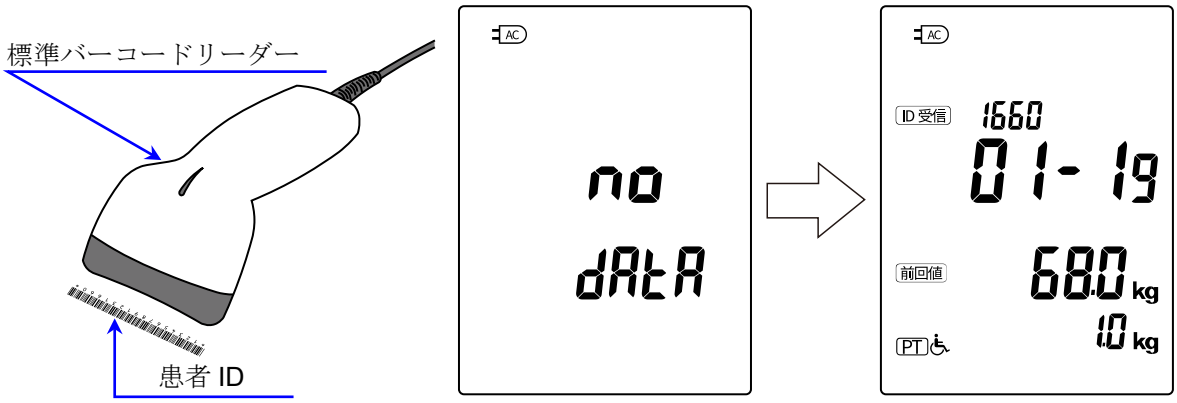


11. ID管理モードについて

11.1. 患者IDに保存された内容を確認する

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をして標準バーコードリーダーを、背面 USB タイプ A 接続口につなげてください。
2. 点検 スイッチを押しながら ON/OFF スイッチを押して ID 管理モードに入ります。
3. no dAtA と表示されたら標準バーコードリーダーで患者 ID を読み込みます。

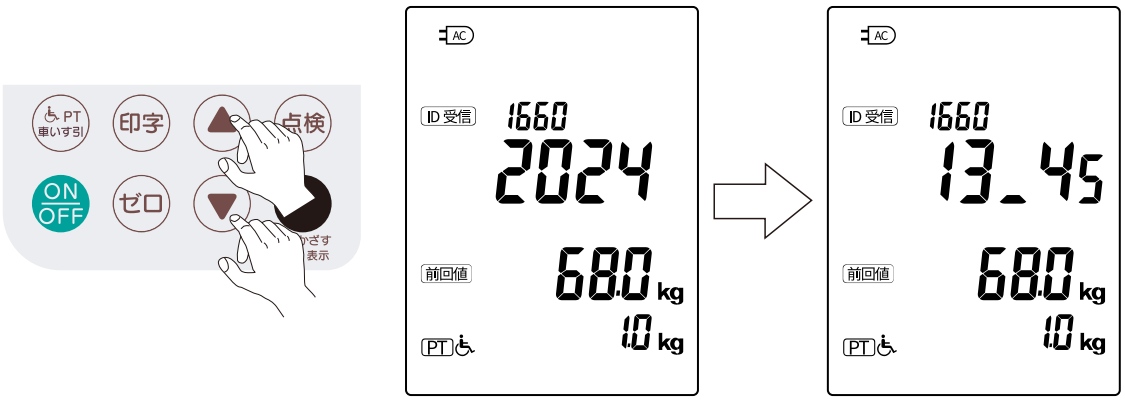


4. 過去に測定した体重値があれば以下の表に従って保存された内容が表示されます。

位置	表示	マーク
1 段目	患者 ID の下 4 桁	「ID 受信」
2 段目	測定日時	
3 段目	前回値	「前回値」
4 段目	車いす引き量 ※	「PT」 ※

※ 車いす引き量は測定時に車いす引き測定をした場合にのみ表示されます。

5. ▲ スイッチ、 ▼ スイッチを押すことで測定日時の「年」、「月日」、「時分」を切り替えることができます。

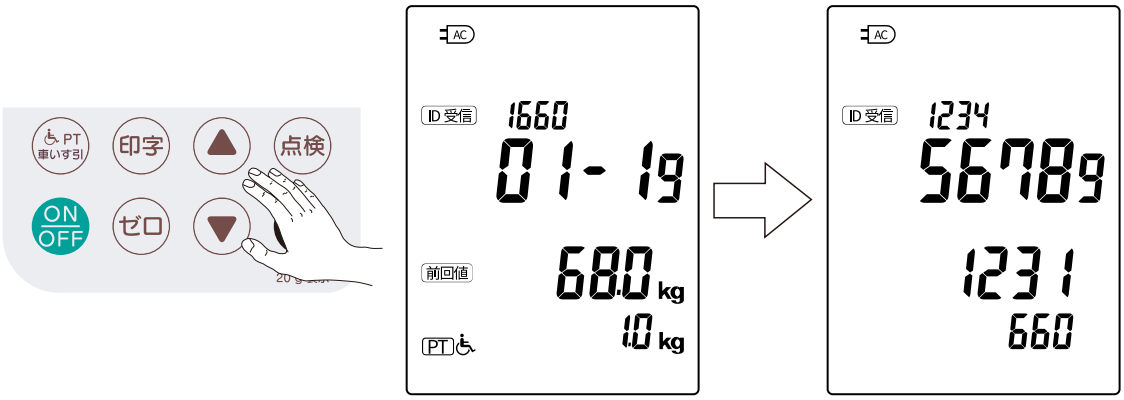


例： 2024 → 2024 年

例： 01-19 → 1 月 19 日

例： 13_45 → 13 時 45 分

6.　IR センサに手をかざしている間は患者 ID が全桁表示されます。



7.　確認後は ON/OFF スイッチを押すことで電源を切ることができます。

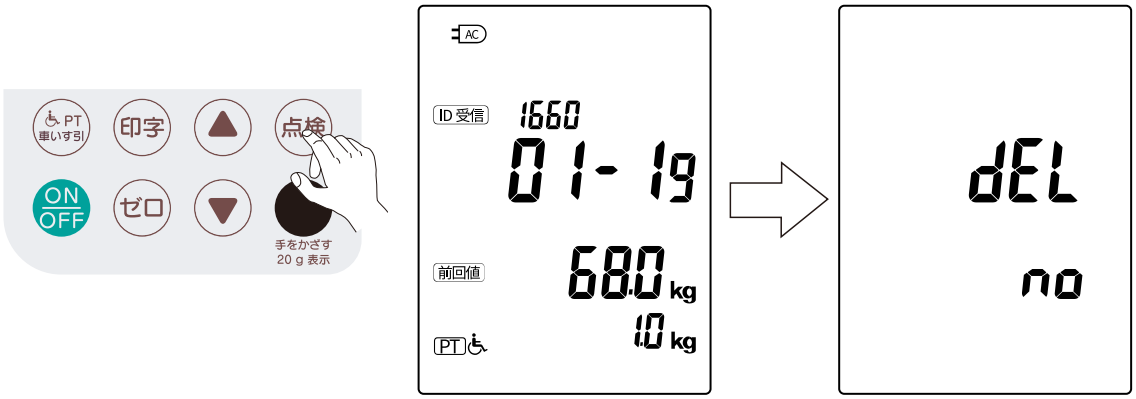
お知らせ

- 過去に測定したことのない患者 ID を読み込んだ場合、 no dAtA と表示されます。
- ユーザープリセット風袋値のみで使用している ID については内容を確認することができません。
  プリセット風袋設定画面でご確認ください。

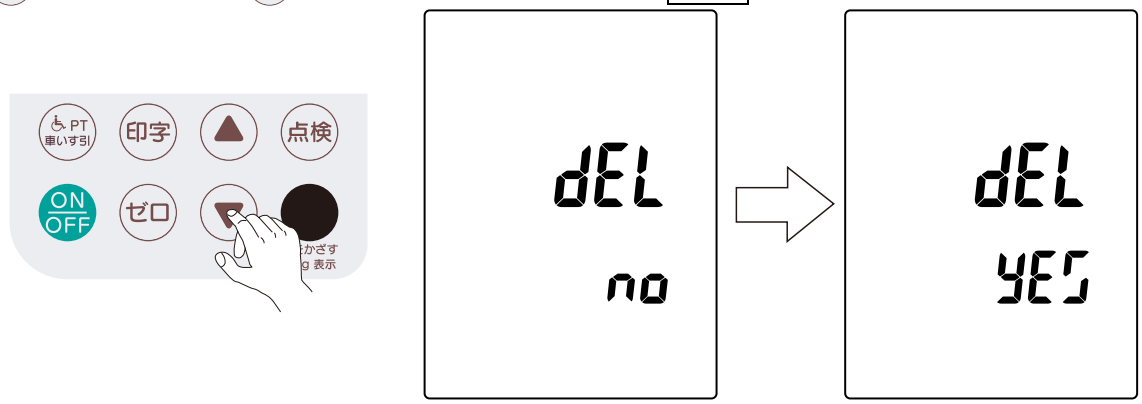
11.2. 特定の患者IDのデータを削除する

手順：

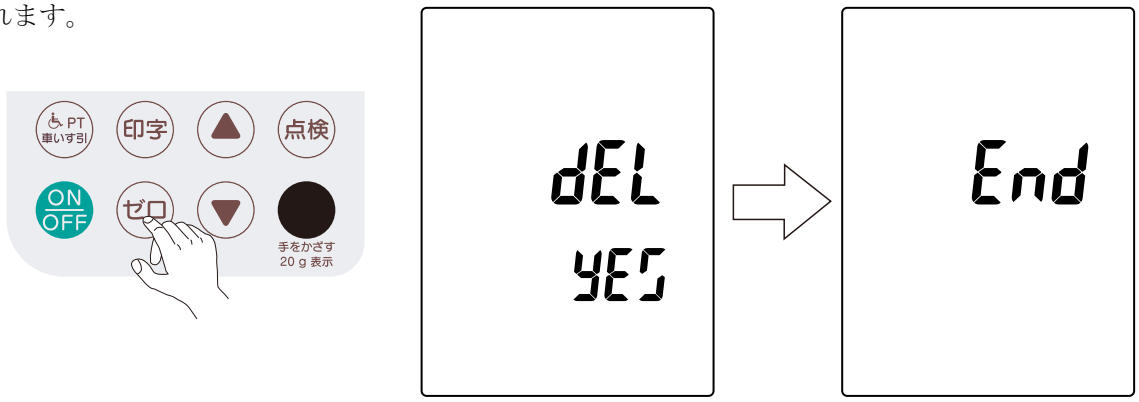
1. 測定を開始する前に電源の確認をして標準バーコードリーダーを、背面 USB タイプ A 接続口につなげてください。
2. 点検 スイッチを押しながら ON/OFF スイッチを押して ID 管理モードに入ります。
3. no dAtA と表示されたら標準バーコードリーダーで削除したい患者 ID を読み込みます。
4. 患者 ID 内に保存された内容が表示されます。
5. 点検 スイッチを押すと、2 段目に dEL 3 段目に no と表示されます。



6. ▲ スイッチまたは ▼ スイッチを押すこと 3 段目が YES と表示されます。



7. 3 段目が YES と表示された状態で ゼロ スイッチを押すことで、患者 ID 内の情報の削除が実行されます。



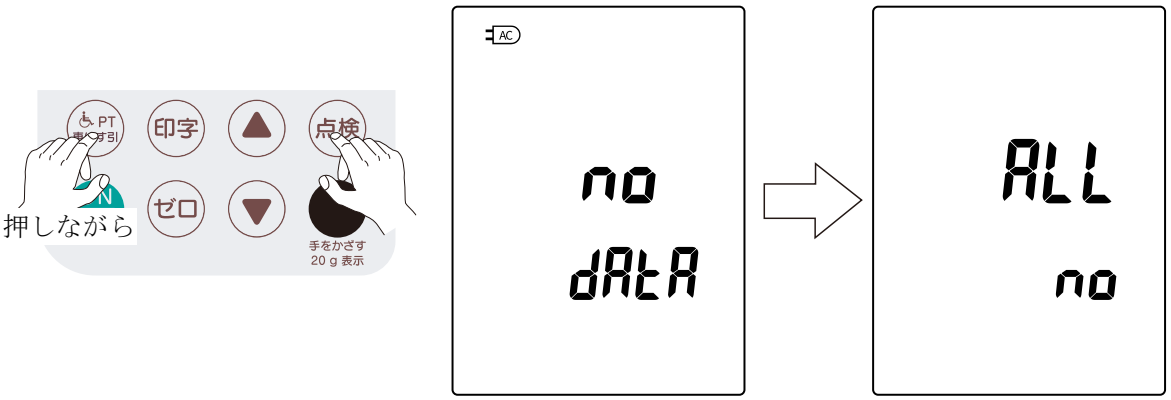
8. 削除が完了すると End と表示された後に no dAtA の表示に戻ります。

お知らせ
■ ユーザープリセット風袋値のみで使用している ID は個別削除することができません。

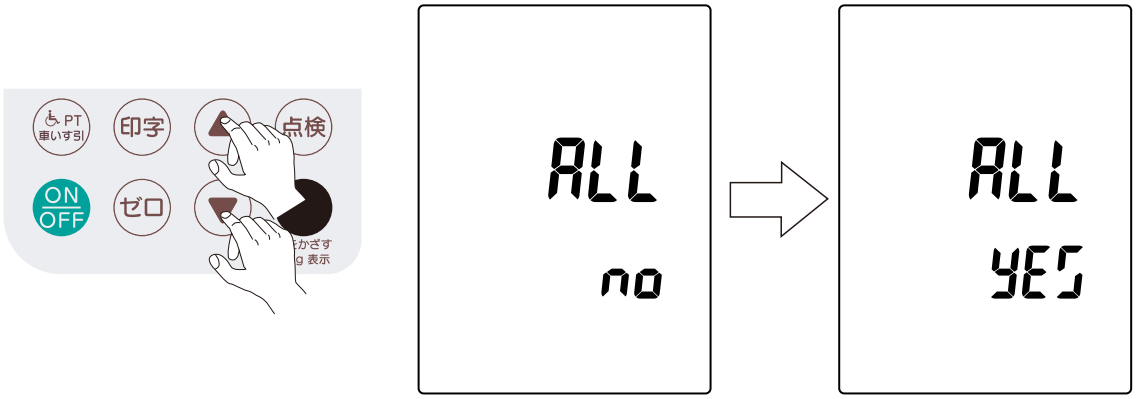
11.3.　全患者IDのデータを削除する

手順：

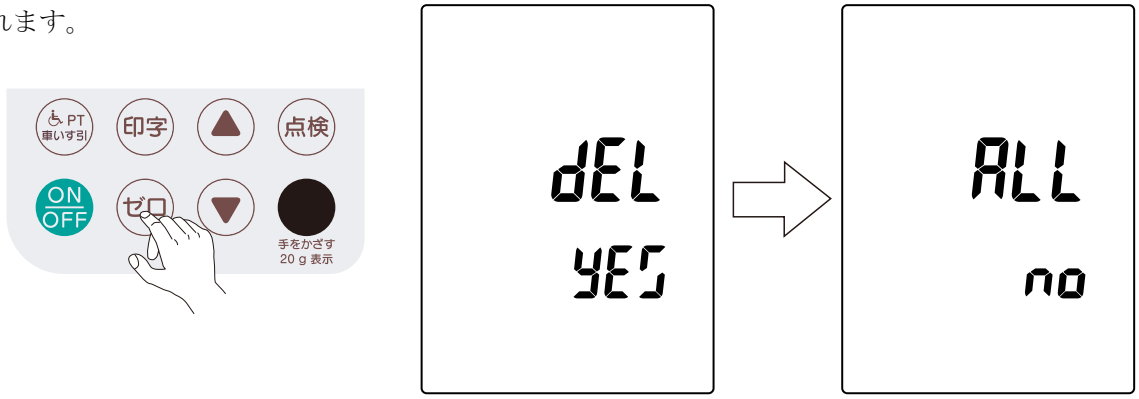
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
2. 点検 スイッチを押しながら ON/OFF スイッチを押して ID 管理モードに入ります。
3. PT 車いす引 スイッチを押しながら 点検 スイッチを押すと、2 段目に ALL 3 段目に no と表示されます。



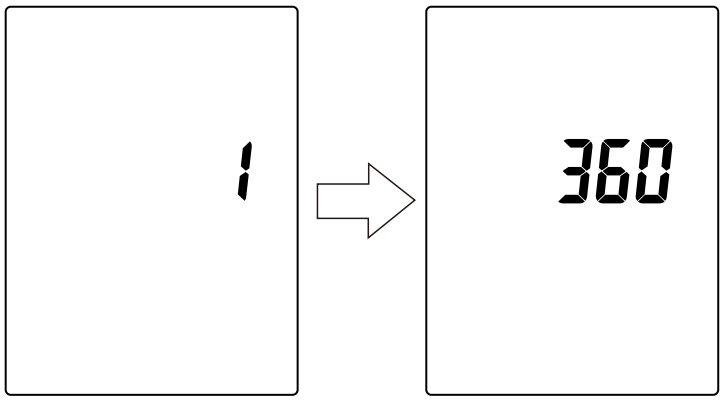
4. ▲ スイッチまたは ▼ スイッチを押すこと 3 段目が YES と表示されます。



5. 3 段目が YES と表示された状態で ゼロ スイッチを押すことで全患者 ID 内の情報の削除が実行されます。



6.　1 ～ 360 まで順番に削除されます。



7.　削除が完了すると End と表示された後に no dAtA の表示に戻ります。

お知らせ
■ 全患者 ID 削除には 2 分程度かかります。ご注意ください。

12. ファンクション設定

ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

12.1. ファンクション設定方法

手順：

1. 測定 OFF の状態にします。
2. ゼロ スイッチを先に押した状態で、 ON/OFF スイッチを押します。
3. F00-＊ と表示されます。
4. ゼロ スイッチを押すと設定が変更され、 F00-0 → F00-1 と変わります。
5. ▲ スイッチを押すと次の項目になり F00-1 → F01-1 と変わります。
6. ▼ スイッチを押すと前の項目に戻り、 F01-1 → F00-1 と変わります。
7. 上記の項目の設定が終わったら、 ON/OFF スイッチを押します。
8. 表示に End と現れ、設定が記憶されます。

12.2. ファンクション一覧

◆は初期設定を表します。

項目	内容	設定値	設定内容
F00	イニシャル	◆0	無効
		1	有効
F01	オートパワーオフ	◆0	オフ
		1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F02	表示固定	0	オフ
		1	8 秒
		◆2	3 kg
		3	8 秒+3 kg
F03	ブザー音	0	オフ
		◆1	オン
F05	出力タイミング （表示器側 RS-232C）	0	オート出力 A
		1	オート出力 B
		2	オート出力 C
		◆3	オート出力 D
		4	ストリーム
		5	ストリーム（風袋出力あり）
		6	出力なし
F06	通信フォーマット （表示器側 RS-232C）	0	DP フォーマット
		◆1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
F07	通信初期化 （表示器側 RS-232C）	◆0	無効
		1	有効
F08	ボーレート （表示器側 RS-232C）	◆0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F09	パリティ （表示器側 RS-232C）	◆0	偶数（EVEN）
		1	奇数（ODD）
		2	無し（NONE）
F10	終端 （表示器側 RS-232C）	◆0	CRLF
F11	データ長 （表示器側 RS-232C）	◆0	7 bit
		1	8 bit
F12	ストップビット （表示器側 RS-232C）	◆0	1 bit
		1	2 bit
F15	出力タイミング （台側 RS-232C）	0	オート出力 A
		1	オート出力 B
		2	オート出力 C
		◆3	オート出力 D
		4	ストリーム
		5	ストリーム（風袋出力あり）
		6	出力なし

項目	内容	設定値	設定内容
F16	通信フォーマット（台側 RS-232C）	0	DP フォーマット
		◆1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
F17	通信初期化（台側 RS-232C）	◆0	無効
		1	有効
F18	ボーレート（台側 RS-232C）	◆0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F19	パリティ（台側 RS-232C）	◆0	偶数（EVEN）
		1	奇数（ODD）
		2	無し（NONE）
F20	終端（台側 RS-232C）	◆0	CRLF
		1	CR
		2	LF
F21	データ長（台側 RS-232C）	◆0	7 bit
		1	8 bit
F22	ストップビット（台側 RS-232C）	◆0	1 bit
		1	2 bit
F25	印字タイミング	0	無し
		◆1	オート
		2	スイッチ
F26	印字フォーマット	0	節約
		◆1	通常
F30	実目量センサ設定	0	オフ
		1	オン（かざしている間のみ）
		◆2	オン（かざしてから 5 秒間）
F31	実目量センサ感度設定	0	弱
		◆1	中
		2	強
F32	実目量センサ周辺光量設定	◆0	弱
		1	中
		2	強
F35	異物検知機能	◆0	無効
		1	有効
F36	異物検知機能感度	0	強
		◆1	中
		2	弱
F37	ID 管理機能	◆0	オフ
		1	オン
F38	安定速度設定	0	高速
		◆1	中速
		2	低速

13. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「12. ファンクション設定」を参照してください。
RS232C インターフェースへの接続は必ず電源を OFF にしてから接続してください。

13.1. 基本情報

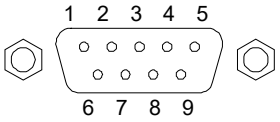
インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）	
信号形式	通信速度	2400, 4800, 9600 bps　選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット　選択可
	パリティ	無し（NONE）,偶数（EVEN）,奇数（ODD）選択可
	ストップビット	1 ビット、2 ビット　選択可
	使用コード	ASCII

ピン接続

コネクタ：D-sub 9 ピン（オス）

ピン番号	信号	方向	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	
3	TXD	出力	
4	DTR	–	
5	SG	–	
6	DSR	N.C.	
7	RTS	出力	7 ピンと 8 ピンは内部で結線されています。
8	CTS	入力	
9	RI	N.C.	



通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。
「17. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

通信内容およびタイミング

1. ストリームモード

体重値のみ、約 10 回/秒で常時出力します。

項目	出力データ内容
ストリームモード	体重値
ストリームモード（風袋出力あり）	体重値+風袋値

2. オート出力モード A,B,C

体重表示が固定されるとデータが 1 回だけ出力されます。設定により ID、時計データがつきます。
通信データフォーマットは、設定内容に従います。
なお、体重値は常に出力されますが、身長値、風袋値は動作状態に応じて出力されます。

項目	出力データ内容
オート出力モード A	体重値＋風袋
オート出力モード B	ID データ＋体重値＋風袋値
オート出力モード C	時計データ＋体重値＋風袋値
オート出力モード D（初期設定）	時計データ＋ID データ＋体重値＋風袋値

13.2. データフォーマット

13.2.1. 出力データフォーマット

表記記号

CR は、キャリッジリターン（0x0D）を表しています。　CR LF は、終端記号です。
設定による変更ができます。
LF は、ラインフィード（0x0A）を表しています。
␣ は、スペース文字（0x20）を表しています。

ＤＰフォーマット

ファンクション設定で、「DP フォーマット」を指定した場合のフォーマット。
「通信フォーマット（表示器側 RS-232C）」－「DP フォーマット」 F06-0 及び、
「通信フォーマット（台側 RS-232C）」－「DP フォーマット」 F16-0
極性は、＋または､－ です。
数字の桁数は、データの最上位の桁までで、可変します。
数字の最上位桁の左隣に**極性**が付きます。
極性と数字の部分について、**極性**の左側はスペース文字(␣ 0x20)に置き換わります。

体重安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　体重 70.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T	␣	␣	␣	␣	␣	␣	+	7	0	.	1	␣	k	g	CR	LF

体重安定（正味量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N	␣	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　体重 64.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	+	6	4	.	5	␣	k	g	CR	LF

体重オーバー（総量 プラス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	E	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	CR	LF

マイナス計量（総量 マイナス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	－	E	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	CR	LF

風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T	␣	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　風袋 5.6 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	＋	5	.	6	␣	k	g	CR	LF

プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T	␣	␣	␣	␣	␣	␣	+	1	0	.	1	␣	k	g	CR	LF

標準プリンタフォーマット

ファンクション設定で、「標準プリンタフォーマット」を指定した場合のフォーマット。
「通信フォーマット（表示器側 RS-232C）」－「標準プリンタフォーマット」 F06-1 及び、
「通信フォーマット（台側 RS-232C）」－「標準プリンタフォーマット」 F 16-1
極性は、＋または､－ です。

体重安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	0	5	.	1	␣	k	g	CR	LF

例　体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	0	.	5	␣	k	g	CR	LF

例　体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	1	0	0	.	5	␣	k	g	CR	LF

体重非安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

体重オーバー（総量 プラス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	9	.	9	␣	k	g	CR	LF

マイナス計量（総量 マイナス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	−	9	9	9	9	9	9	.	9	␣	k	g	CR	LF

風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	␣	k	g	CR	LF

例　風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	␣	k	g	CR	LF

プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　プリセット風袋 10.1 kg のデータ例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	+	0	0	1	0	.	1	␣	k	g	CR	LF

HD フォーマット

ファンクション設定で、「HD フォーマット」を指定した場合のフォーマット。
「通信フォーマット（表示器側 RS-232C）」－「HD フォーマット」 F06-2 及び、
「通信フォーマット（台側 RS-232C）」－「HD フォーマット」 F 16-2
極性は、＋または､-です。

体重安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	␣	k	g	CR	LF

例　体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	.	1	␣	␣	k	g	CR	LF

例　体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	5	0	.	5	␣	␣	k	g	CR	LF

例　体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	1	0	0	.	5	␣	␣	k	g	CR	LF

体重安定（正味量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
N	␣	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	␣	k	g	CR	LF

体重非安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	␣	k	g	CR	LF

体重オーバー（総量 プラス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	.	9	␣	␣	k	g	CR	LF

マイナス計量（総量 マイナス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	−	9	9	9	9	9	.	9	␣	␣	k	g	CR	LF

風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	␣	k	g	CR	LF

例　風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	␣	k	g	CR	LF

プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例　プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	0	0	0	0	1	0	.	1	␣	k	g	CR	LF

ID データ　　（共通）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
I	D	,	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	C_R	L_F

時計データ　　（共通）

年は、西暦で 2013 ～ 2099 の範囲が選択できます。
時間は 24 時間表記です。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	,	時	時	:	分	分	:	秒	秒	C_R	L_F

13.2.2.　入力データフォーマット

コマンド

ゼロ動作 の書式

0	1	2
Z	C_R	L_F

ID 出力 の書式

0	1	2	3	4
?	I	D	C_R	L_F

時刻出力 の書式

0	1	2	3	4
?	T	M	C_R	L_F

14. プリンタ印字

本器は表示器標準搭載のプリンタを使用して計量値を印字することができます。
印字フォーマットは標準サイズ、節約サイズから選択することができます。
印字タイミングは表示固定されたタイミングで印字が行われるオートモード、表示固定中に 印字 スイッチを押すことで印字が行われるスイッチモード、印字を行わない設定を選択することができます。
印字フォーマットと印字タイミングの設定方法は「12. ファンクション設定」を参照してください。

14.1. 通常測定時の印字例

	標準	節約
通常測定	2024年2月22日　08時50分 体重 64.9 kg	2024年2月22日　08時50分 体重　６４．９　ｋｇ
風袋測定	2024年2月22日　08時42分 体重 (N) 64.9 kg 風袋 (T)　７．０ ｋｇ	2024年2月22日　08時42分 体重 (N)　６４．９　ｋｇ 風袋 (T)　７．０　ｋｇ
車いす引き測定	2024年2月22日　08時44分 体重 (N) 64.9 kg 風袋 (PT) １０．０ ｋｇ	2024年2月22日　08時44分 体重 (N)　６４．９　ｋｇ 風袋 (PT) １０．０　ｋｇ

14.2. ID測定時の印字例

	標準	節約
通常測定	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値 56.7 kg 2024年2月22日　09時48分 現体重 57.6 kg	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値　５６．７　ｋｇ 2024年2月22日　09時48分 現体重　５７．６　ｋｇ
風袋測定	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値 56.7 kg 2024年2月22日　09時48分 現体重 (N) 57.6 kg 風袋 (T)　１０．０ ｋｇ	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値　５６．７　ｋｇ 2024年2月22日　09時48分 現体重 (N)　５７．６　ｋｇ 風袋 (T)　１０．０　ｋｇ
車いす引き測定	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値 (N) 56.7 kg 風袋 (PT) １４．５ ｋｇ 2024年2月22日　09時48分 現体重 (N) 57.6 kg 風袋 (PT) １４．５ ｋｇ	ID:0003768283287613 2024年2月14日　14時27分 前回値 (N)　５６．７　ｋｇ 風袋　(PT)　１４．５　ｋｇ 2024年2月22日　09時48分 現体重 (N)　５７．６　ｋｇ 風袋　(PT)　１４．５　ｋｇ

15. その他通信オプション

本器は、標準の RS-232C の他に下記 BLE、USB、イーサネット接続が可能です。それぞれの説明書に加えて「12. ファンクション設定」を参考にファンクションの設定をしてください
以下表を参考に本体のファンクション、それぞれのオプションを設定してください。

型名	接続端子	用途	本器 ファンクション設定			オプション個別設定
			F05(タイミング)	F06(書式)	F08(ボーレート)	
GXA-27JA	Bluetooth	HID	F05-3 (オート出力 D)	F06-1 (標準プリンタフォーマット)	F08-0 (2400 bps)	DIP1:ON DIP2:OFF
		双方向通信 (外部表示器)	F05-4 (ストリーム出力)	F06-1 (標準プリンタフォーマット)	F08-0 (2400 bps)	DIP1:OFF DIP2:OFF
FXi-02	USB タイプ B	HID	F05-3 (オート出力 D)	F06-1 (標準プリンタフォーマット)	F08-2 (9600 bps)	無し
FXi-08	イーサネット	WinCT Plus	F05-3 (オート出力 D)	F06-1 (標準プリンタフォーマット)	F08-0 (2400 bps)	無し

※　各オプションの説明書を参考にしたうえで、最終的な設定は上記の表に従ってご確認ください。

16. 保守

16.1. 保守点検と安全管理

本器は必要時に有する機能が十分に発揮され、しかも患者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
弊社では、1 年に 1 回以上の定期点検をお勧め致します。

16.2. 清掃

⚠注意	
	■ 清掃を行う際は、AC アダプタをコンセントから外してください。 感電の恐れがあります。
	■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 消毒する際は布などに塗布し清拭してください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1 ヶ月に 1 回程度、以下のように行ってください。

- 外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

16.3. 定期点検

機器を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、弊社にお問合せください。

16.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ 落下等による変形、破損がないこと ■ 各部の汚れ、サビ、キズがないこと ■ パネル類の割れやガタつきがないこと ■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと
表示部	■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと
接続ケーブル	■ 接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等がのっていないこと ■ 接続ケーブルが破損していないこと ■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること

16.3.2.　電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいがないこと ■ 異常な音がしないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと
表示部	■ 表示器の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 体重値を表示確認し、異常がないこと

- 機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
- 点検は、最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

16.4.　廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	ベース	鉄
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池

16.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	■ 電源は正しく接続されていますか？ ■ 電池は正しく挿入されていますか？ ■ 表示器後ろの専用端子はカチッと音がするまで差し込まれていますか？
---- を表示したまま変わらない。	■ 電源をいれるとき、計量台の上に何かのっていませんか？ 約 20 kg 以上のものをのせて電源をいれると表示されます。のっているものを降ろしてください。
体重が正しくはかれない。	■ 計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ ■ 水平に設置されていますか？ ■ 計量台下部に異物が挟まっていませんか？ ■ 異物検知マークは点灯していませんか？ ■ 別体スロープに接触した状態で測定していませんか？
異物検知と表示される。	■ 計量台下部に異物が挟まっていませんか？ ■ 計量台下部を確認の上、「7.6.1. 初期設定」を再度実施してください。
測定範囲外と表示される。	■ 計量台に 200.16 kg を超えたものがのっているか、電源投入時に計量台にのっているものを降ろしたとき表示されます。故障ではありません。
⊏ が表示される。	■ 電池交換をしてください。

⚠警告

🛠	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

16.6. エラーコード

エラー発生時、液晶のセグメントに以下のエラーコードを表示します。

プリンタエラーコード

エラー表示	エラー内容、対処の仕方
PE	プリンタ用紙がなくなりました。新しいプリンタ用紙をセットしてください。
Po	プリンタカバーが開いています。プリンタカバーをしっかり押して閉めてください。
Pc	オートカッタのエラーです。プリンタカバーを一度開けて、プリンタ用紙を確認してから、プリンタカバーを押して閉じてください。

以下のように「Err 番号」と出るときは、故障の可能性が高いです。表示される番号とともに弊社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。

エラーコード詳細

エラー表示	エラー内容	対処の仕方
Err6	表示器と台の通信に異常を検出しました。	表示器後ろ側にある専用端子を再度カチッと音がするまで差し直してください。改善しない場合はケーブルが破損している恐れがあります。ME 機器相談センターにお問い合わせください。
Err9	本体内部の電源電圧の異常を検知しました。	再度電源を入れ直して改善しない場合は使用を中止してください。AC アダプタもしくは内部基板の故障の恐れがあります。ME 機器相談センターにお問い合わせください。
Err0	本体内部の電源電圧の異常を検知しました。	再度電源を入れ直して改善しない場合は使用を中止してください。AC アダプタもしくは内部基板の故障の恐れがあります。ME 機器相談センターにお問い合わせください。

お知らせ

- プリンタを使用しない場合は、ファンクション F25 印字タイミングの設定を「0 無し」に設定して、使用してください。
- ファンクション F25 印字タイミングの設定を「0 無し」に設定することで、プリンタエラーを非表示にすることができます。
- 設定方法は「12. ファンクション設定」を参照してください。

17. アクセサリ・オプションリスト

品名	型名
AC アダプタ	AX-TB278
BLE オプションボード	GXA-27JA
USB オプションボード	FXI-02-JA
イーサネットオプションボード	FXi-08
専用バーコードリーダー	AX-BCR-USBA
専用ワイヤレスバーコードリーダー	AX-BCR-USBA-W
専用別体スロープ	AD6105R-1
専用保護マット	AD6105R-MAT
枕型校正用分銅 M1 級相当品	AD1606-20KM1 / 10KM1
枕型校正用分銅 M2 級相当品	AD1606-20KM2 / 10KM2

18. 重力加速度の大きさの範囲

本器は、重力加速度の大きさの範囲を分類しています。
2 箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、愛知県の場合「9.800 ～ 9.796 m/s^2」または「9.798 ～ 9.794 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.803 ～ 9.807 m/s^2	1	北海道
9.799 ～ 9.804 m/s^2	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796 ～ 9.801 m/s^2	3	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、 東京都（八丈、小笠原支庁管内を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、 石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、 島根県、岡山県、広島県、山口県、
9.794 ～ 9.799 m/s^2	4	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、 岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789 ～ 9.794 m/s^2	5	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県

19. アフターサービス・保証

本器、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

19.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体……ご購入日より 1 年

19.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

19.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。

MEMO

MEMO

MEMO

［白紙］

メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

ＭＥ機器相談センター

電話 **0120-707-188** 通話料無料

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

修理品の発送先

業務用体重計、業務用身長計

〒507-0054　岐阜県 多治見市 宝町９－１９
株式会社エー・アンド・デイ　ＦＥ部
TEL. 0572-21-6644

A&D 株式会社エー・アンド・デイ
本社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋３－２３－１４　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。
番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いします。